

2024 年度

モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査

2023 年度 総括報告書

令和 7 (2025) 年 3 月

環境省自然環境局 生物多様性センター

要約

本調査の目的は、シギ・チドリ類の長期的なモニタリングを通じて、基礎情報の収集及びシギ・チドリ類の減少やその生息地(主に干潟域)の劣化の兆候を早期に把握すること、また、生物多様性保全のための基礎資料とすることである。

調査は毎年春期(4~5月)、秋期(8~9月)、冬期(12~2月)に実施している。本報告書では、2023年春期、秋期及び2023~2024年冬期に実施した調査を2023年度(2023~2024年)調査としてまとめている。また、各シーズンの調査報告作成以降の誤記の修正及びデータの追加を反映させている。

調査サイトは、コアサイトと一般サイトに分かれている。各調査期間に、それぞれ一斉調査基準日(2023年4月23日、2023年9月17日、2024年1月14日)を設定し、調査員は基準日での調査の実施に努めた。なお、一斉調査のデータは、一斉調査基準日の前後1週間に記録されたものを採用している。また、コアサイトでは各調査期間において一斉調査を含め3回以上の調査を行うことを原則とした。

2023年度は、春期は、コアサイト46サイト、一般サイト71サイトの計117サイト、秋期は、コアサイト44サイト、一般サイト64サイトの計108サイト、冬期は、コアサイト45サイト、一般サイト62サイトの計107サイトで調査を実施した。

一斉調査では、春期にシギ・チドリ類42種19,354羽、ツクシガモ1,375羽、ヘラサギ16羽、クロツラヘラサギ230羽及びズグロカモメ25羽、秋期にシギ・チドリ類44種6,187羽、ヘラサギ2羽、クロツラヘラサギ24羽、冬期にシギ・チドリ類35種21,579羽、ツクシガモ5,686羽、ヘラサギ56羽、クロツラヘラサギ292羽及びズグロカモメ5,009羽が記録された。

最大個体数(調査期間内に記録された個体数の最大値)の集計結果は、2023年度春期はシギ・チドリ類47種60,678羽、ツクシガモ1,743羽、ヘラサギ45羽、クロツラヘラサギ389羽及びズグロカモメ147羽、2023年度秋期はシギ・チドリ類52種24,099羽、ヘラサギ9羽、クロツラヘラサギ133羽及びズグロカモメ7羽、2023年度冬期はシギ・チドリ類41種36,547羽、ツクシガモ6,725羽、ヘラサギ114羽、クロツラヘラサギ523羽及びズグロカモメ6007羽であった。

優占種(最大個体数の合計に対する各種の優占率)は、春期はハマシギ(44.0%)、トウネン(12.0%)、チュウシャクシギ(11.3%)、秋期はトウネン(12.8%)、ハマシギ(12.7%)、ソリハシシギ(11.9%)、冬期はハマシギ(64.7%)、シロチドリ(8.9%)、ダイゼン(6.7%)であった。

Summary

The objectives of this research are to collect basic shorebirds count data, to find a decreasing trend in the population and degradation of their habitat (mainly focused on tidal flat), and to store the basic information for conservation of biodiversity. The surveys were conducted for three seasons a year, north-migration period (Apr.-May.), south-migration period (Aug.-Sep.) and the non-breeding season (Dec.-Feb.) in Japan. This report describes the findings of spring and autumn 2023 and winter 2023-24. These sites are classified into two types, core sites and general sites, based on the significance for shorebirds. For each season, date for the same period census was predefined, and every researcher tries to conduct at the day as possible. The same period census data were collected as observed during one week before and after the day (1 May, 18 Sep. in 2023 and 15 Jan. in 2024). The researchers of the core sites had to conduct the survey more than three times for each season in principle.

46 Core site and 71 General site, a total of 117 sites surveyed in the spring 2023. Core site 44 and 64 General site, a total of 108 sites surveyed in the autumn 2023. Core site 45 and 62 General site, a total of 107 sites surveyed in the winter 2023-24.

On the days for the same period census, 19,354 birds of 42 species of shorebirds, and Common Shelduck 1,375, Eurasian Spoonbill 16, Black-faced Spoonbill 230, and 25 Saunders's Gull for north-migration period (middle Apr.), 6,187 birds of 44 species of shorebirds, Eurasian Spoonbill 2 and 24 Black-faced Spoonbill, for south-migration period (middle Sep.), 21,579 birds of 35 species of shorebirds, and Common Shelduck 5,686, Eurasian Spoonbill 56, Black-faced Spoonbill 292, and 5,009 Saunders's Gull for winter (middle Jan.) were recorded.

As a total of the maximum number recorded during each survey season, 60,678 birds of 47 species of shorebirds, and Common Shelduck 1,743, Eurasian Spoonbill 45, Black-faced Spoonbill 389, and 147 Saunders's Gull for north-migration period, 24,009 birds of 52 species, Eurasian Spoonbill 9 and 133 Black-faced Spoonbill, and 7 Saunders's Gull for south-migration period, 36,547 birds of 41 species of shorebirds, and Common Shelduck 6,725, Eurasian Spoonbill 114, Black-faced Spoonbill 523, and 6,007 Saunders's Gull for winter, were recorded.

The most dominant shorebird species were Dunlin (44.0%), Rufous-necked stint (12.0%), Whimbrel (11.3%) in north-migration period, Rufous-necked stint (12.8%), Dunlin (12.7%), Terek sandpiper (11.9%), in south-migration period, Dunlin (64.7%), Kentish plover (8.9%), Grey plover (6.7%) in winter.

II 調査体制 (Research Framework)

本調査は、環境省より業務を請負った事務局が調査の統括を行い、事務局から依頼された全国の調査員が、可能な限り複数名で現地調査を行うことにより実施された。調査の依頼にあたっては、本業務の目的を説明した上で、調査結果の取扱いに同意を得た。また、調査結果は事務局がとりまとめた(図 1)。

調査員から提出されたデータは、事務局にて内容のチェックを行い、データベースへ入力し、データベース・データとして環境省へ提出した(図 2)。

検討会は、事務局が各地方ブロックから任意に選出した調査員代表者及び学識経験者等からなる 8 名により開催し、調査結果や調査体制・手法について検討した。

さらに、調査員の調査の効果的・効率的な実施、また、調査員のリクルートの場合として、講習会を開催した。

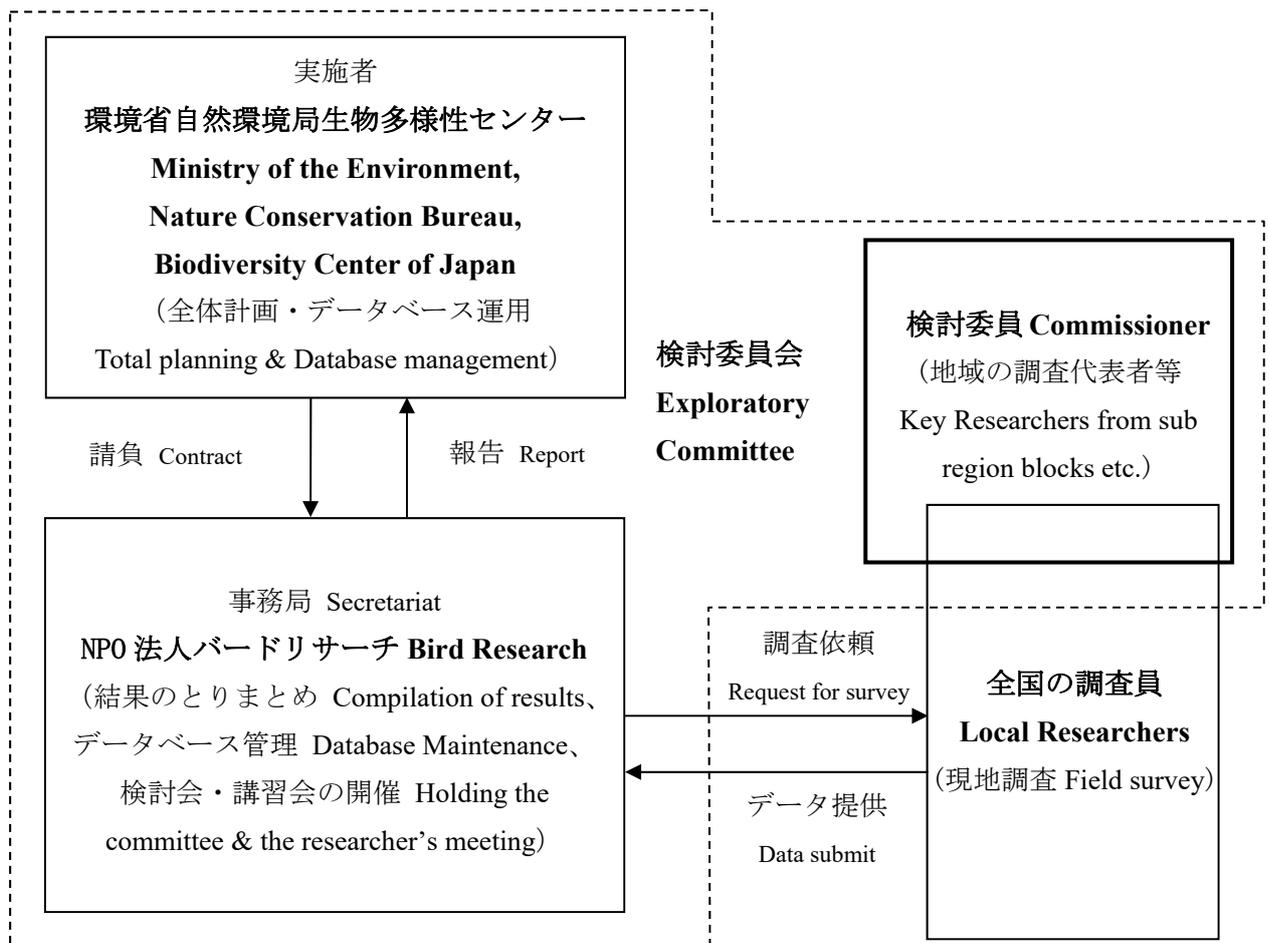


図 1 調査体制 Fig. 1 Research Framework.

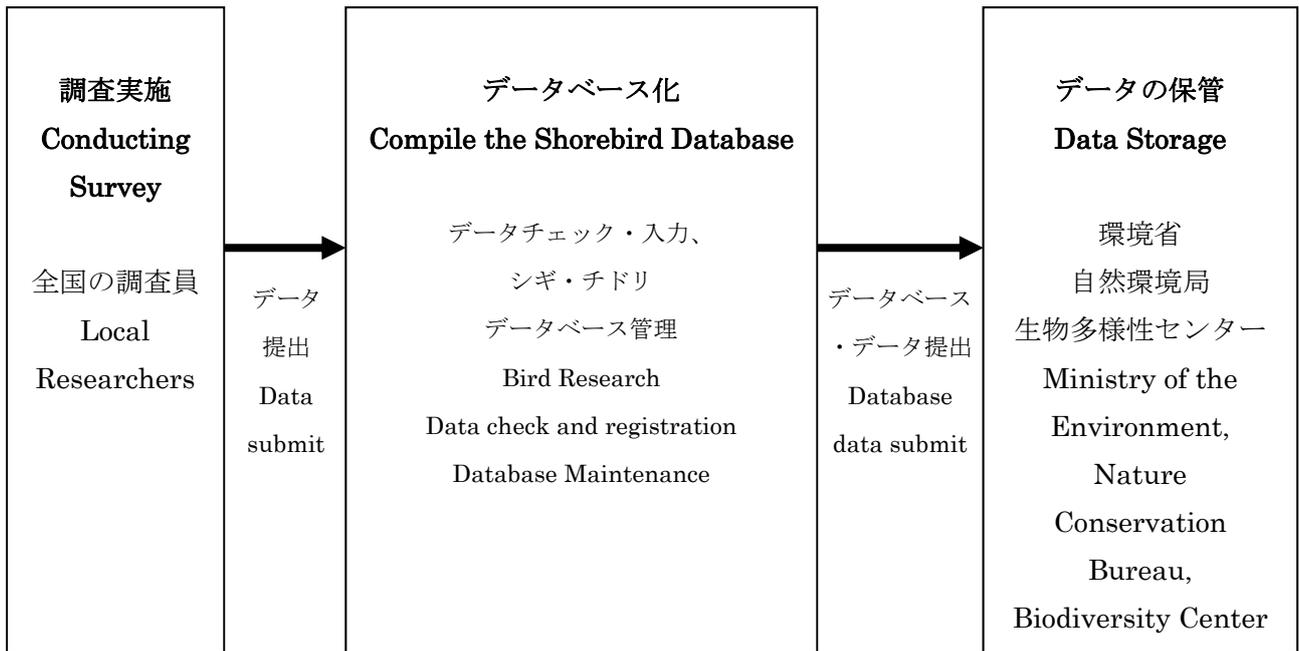


図 2 調査データの流れ Fig. 2 Flow chart of survey data.

Ⅲ 調査方法 (Survey Methods)

干潟は、シギ・チドリ類、ガンカモ類、サギ類、カモメ類など多様な鳥類に利用されている。特にシギ・チドリ類の大部分は干潟を主な生活の場所とし、干潟の微生物・ゴカイ類・貝類・甲殻類等を採食する。シギ・チドリ類は、上記鳥類の中では個体数が比較的多く、干潟生態系の食物網の上位に位置し、より栄養段階の低い生物群(食物源であるゴカイ類、甲殻類、二枚貝類などや、その餌となるプランクトンなど)の変化の影響を受けやすいと考えられるため、干潟生態系の健全性を測る指標として、渡来数がモニタリングされてきた。本調査では、「モニタリングサイト 1000

シギ・チドリ類調査マニュアル第 2.1 版」を踏まえて、シギ・チドリ類及び、環境省レッドリスト掲載種のズグロカモメ・クロツラヘラサギ・ヘラサギ・ツクシガモの個体数調査及び調査サイト周辺の環境状況の調査を実施した。また、淡水湿地をよく利用するシギ・チドリ類が集中して渡来する地域においては、水田や農耕地でのモニタリングも実施した。

<個体数の集計>

1. 事業実施期間 2004 年 4 月～

(5 か年をめぐりに調査手法、体制などの見直しを図る)

2. 調査対象

シギ・チドリ類(チドリ目チドリ科・ミヤコドリ科・セイタカシギ科・シギ科・レンカク科・タマシギ科・ミフウズラ科・ツバメチドリ科)を調査対象とした。また、干潟に生息するズグロカモメ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ツクシガモを調査対象とした。

3. 調査期間

2023 年度

春期 : 2023 年 4 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

一斉調査基準日 : 2023 年 4 月 23 日(日)(中潮)

秋期 : 2023 年 8 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

一斉調査基準日 : 2023 年 9 月 17 日(日)(中潮)

冬期 : 2023 年 12 月 1 日～2024 年 2 月 29 日

一斉調査基準日 : 2024 年 1 月 14 日(日)(中潮)

4. 調査回数

過去に環境省で実施したシギ・チドリ類個体数変動モニタリング調査(1999～2003年)の10回の調査の記録を元に、下記の基準により選定された50か所のコアサイト(図4)においては、種ごとの最大個体数をより正確に把握するために、一調査期間につき3回以上実施した。それ以外の一般サイト(図4)では、1回以上の調査を実施した。

[コアサイトの選定基準]

- ・ラムサール条約登録湿地に登録、もしくは東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップの渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(以下、「フライウェイ」という。)に参加していること。
- ・ラムサール条約登録基準を満たしていること。
- ・フライウェイの参加基準を複数種以上が満たしていること。
- ・国指定鳥獣保護区もしくは、生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)に指定されていること。
- ・全国レベルの調査にデータを提供した実績があること。

5. 集計用紙への記録

調査サイトごとに、集計用紙に調査の開始時刻及び終了時刻、干潮時刻及び満潮時刻(調査時間帯に近い時刻を記入)、調査範囲内の対象種の個体数等を記録した。また、調査サイト名、調査サイトコード、調査サイト所在地、調査員氏名を記入した。各調査員は、最も多くの個体数をカウントできる時間帯を選定し、調査を実施した。よって、干潟・河口など潮汐のある環境下では、調査時間帯が満潮時であるか干潮時であるかは不問とした。

6. 一斉調査

春期・秋期・冬期の各1回、できる限り全国で同じ日に調査を実施することで、ある時点において日本全体に渡来しているシギ・チドリ類の総個体数の大部分を把握することを目的としている。そのため、一斉調査基準日を設け、基準日の前後1週間(計15日間)に調査を実施し、基準日に最も近い一日の記録(全域調査)を一斉調査日の記録とした(図3)。

一斉調査日に調査ができれば、同じ群れを違う場所で重複してカウントしてしまうことを防ぎ、より正確な個体数の把握につながる。特に近接した地域内では、日時を合わせた調査が望ましい。

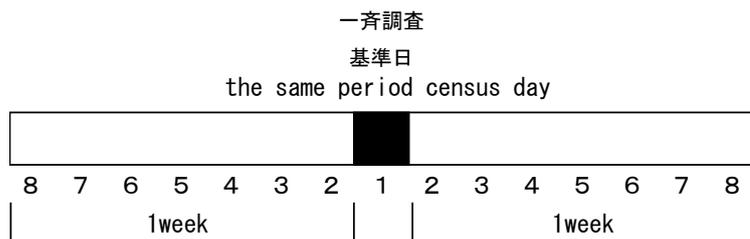


図3 一斉調査日
Fig.3 The Same period census day

7. 最大個体数の集計

各調査サイトにおけるシギ・チドリ類の観察記録より、種ごとに最も大きな数を抽出したものを最大個体数とした。この最大個体数を調査期間別(春期、秋期、冬期)に集計し、各調査サイトにおける渡来状況の季節変化や年変化を把握した。なお、集計対象は調査期間内に得られたすべての記録としており、集計で用いられた記録の回数は、一定ではない。

8. 集計表における空欄の意味

各調査では観察された対象種のすべてが記録されており、一斉調査及び最大個体数のクロス表における空欄はその種の観察個体数がゼロであったことを意味する。調査を実施していないサイトについては記載を省略している。

<調査サイトとその周辺の現況>

i) 調査サイト所在地

調査サイト名、調査サイトコード、調査サイトの都道府県・市町村名、あれば番地までを記入した。

ii) 位置(緯度・経度)

地形図から読みとり記入した。

iii) 調査範囲の環境区分

カウントした範囲の該当する環境区分(干潟・河口・河川・湖沼・湿原・休耕田・水田・畑・溜め池・その他)の選択肢から選び、その他の場合は具体的に記入した。複数選択可。

iv) 調査範囲の底質

底質の種類(泥・砂泥・砂・砂礫・礫・その他)の選択肢から選び、その他の場合は具体的に記入した。

v) 後背地・周辺の環境の状況

調査範囲の後背地や周辺の環境について選択肢から選ぶか、該当しない場合は具体的に記入した。

vi) カウントした群れによる主な利用状況

その地域を主に採食地として利用しているのか、ねぐらなのかを記入した。

vii) カウントした群れのねぐら・休息地の位置

地名、調査範囲からのおおよその距離、ねぐら・休息地の環境(例 貯木場、駐車場、水田)を分かる範囲で記入した。採食地と同様に重要なねぐら・休息地の実態があまり分かっていないため、あわせて記録した。

viii) 特記事項

環境(工事や潮流による変化、水位や植生の変化など)や生物相の変化、他の生物がシギ・チドリ類等に与える影響など、生息環境に影響を及ぼすおそれのある開発計画など特記すべき事項を記入した。

ix) 調査サイトの水質

におい(無・有・強)、にごり(無・有)の選択肢より選んだ。

x) 調査サイトの底質

硫黄臭(卵の腐ったようなにおい)について、におい(無・有・強)の選択肢より選んだ。

xi) 調査員の連絡先

調査員氏名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記入した。

<調査サイト周辺の地形図>

調査サイト周辺の2万5000分の1地形図又は5万分の1地形図のコピーに調査地点、調査範囲、観察地点又は観察コースを記入した。また、シギ・チドリ類の群れの位置や環境の変化(工事中の場所など)を図中に記入した。

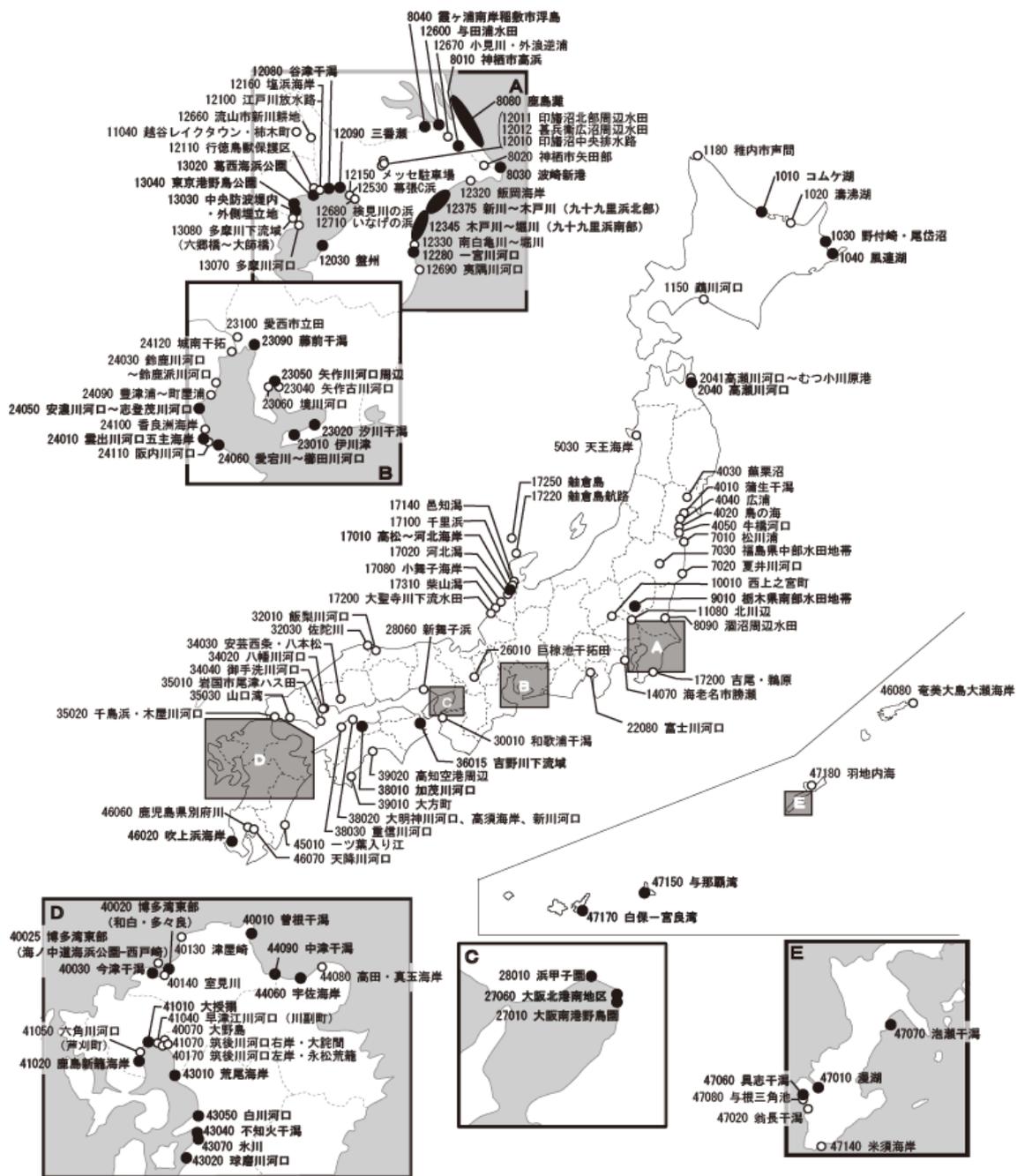


図4 調査サイト位置図(2024年3月時点)

●, コアサイト: 50 地点; ○, 一般サイト: 84 地点.

調査地コードは, シギ・チドリ全国カウント(日本湿地ネットワーク 1996-1999), シギ・チドリ類個体数変動モニタリング調査(環境省 2000-2004)と共通である.

Fig. 4 The map of monitoring sites for shorebirds. ● Core 50 sites; ○ General 87 sites.

IV 調査データの収集・集計・解析 (Results)

現地調査員から収集した調査データについて、論理チェック(空欄、誤記等のエラーチェック)及び生物学的チェック(誤同定、誤報告等のエラーチェック)を行い、併せて個体数の分布の解析に資するため、冬期、春期、秋期について一斉調査期間に確認された種数、個体数の整理、期別の確認された種数、最大個体数を整理した。

2023 年度の調査結果の特徴は以下のとおりである。

1. 観察種数・個体数

2023 年度の調査実施状況を表 1 に示す。確認された種数は、種判別ができた種数とし、総個体数については、種までの同定が不可能な場合も調査対象のシギ・チドリ類であれば含めた。

2023 年度春期の一斉調査期間(基準日:2023 年 4 月 23 日)では、シギ・チドリ類は 42 種 19,354 羽が記録され、ツクシガモは 1,375 羽、ヘラサギは 16 羽、クロツラヘラサギは 230 羽、ズグロカモメは 25 羽記録された(表 2)。また、調査期間中の最大個体数は、シギ・チドリ類は 47 種 60,678 羽、ツクシガモは 1,743 羽、ヘラサギは 45 羽、クロツラヘラサギは 389 羽、ズグロカモメは 147 羽記録された(表 3)。

2023 年度秋期の一斉調査期間(基準日:2023 年 9 月 17 日)では、シギ・チドリ類は 44 種 6,187 羽が記録され、ヘラサギは 2 羽、クロツラヘラサギは 24 羽記録された(表 2)。また、調査期間中の最大個体数は、シギ・チドリ類は 52 種 24,099 羽が記録され、ヘラサギは 9 羽、クロツラヘラサギは 133 羽、ズグロカモメは 7 羽記録された(表 3)。

2023 年度の冬期の一斉調査期間(基準日:2024 年 1 月 14 日)では、シギ・チドリ類は 35 種 21,579 羽が記録され、ツクシガモは 5,686 羽、ヘラサギは 56 羽、クロツラヘラサギは 292 羽、ズグロカモメは 5,009 羽記録された(表 2)。また、調査期間中の最大個体数は、シギ・チドリ類は 41 種 36,547 羽が記録され、ツクシガモは 6,725 羽、ヘラサギは 114 羽、クロツラヘラサギは 523 羽、ズグロカモメは 6,007 羽記録された(表 3)。

表1 2023年度 調査実施状況. Table 1 Survey status in 2023-24

コアサイト				一般サイト-1				一般サイト-2			
調査地名	2023 春 Spr	2023 秋 Aut	2023 冬 Win	調査地名	2023 春 Spr	2023 秋 Aut	2023 冬 Win	調査地名	2023 春 Spr	2023 秋 Aut	2023 冬 Win
コムケ湖	●	●	●	濁沸湖	●	●		鈴鹿川河口～ 鈴鹿派川河口	○	●	●
野付崎・尾岱沼	●	●	●	鶴川河口	●	●	●	豊津浦～町屋浦	●	●	●
風蓮湖北部	●	●	○	稚内市声間	○	●		香良洲海岸	●	●	●
風蓮湖南部	●	●	○	高瀬川河口～ むつ小川原港	●	●	●	阪内川河口	●	●	●
高瀬川河口	●	●	●	蒲生干潟	○	●	●	城南干拓			●
神栖市高浜	●	○	○	鳥の海	○	●	○	巨椋池干拓田	○	●	○
波崎新港	●	○	○	燕栗沼	●	●	●	新舞子浜	●	●	●
霞ヶ浦南岸稲敷市浮島	●	●	●	広浦	●	●	●	和歌浦干潟	●	●	●
鹿島灘	●	○	○	牛橋河口	●	●	●	飯梨川河口	●	●	●
栃木県南部水田地帯	●	○	●	天王海岸				佐陀川	●	●	●
盤洲	●	●	●	松川浦	●	○		高梁川河口干潟周辺	●	●	●
谷津干潟	●	●	●	夏井川河口				八幡川河口	●	●	●
三番瀬	●	●	●	福島県中部水田地帯	●			安芸西条・八本松	●	●	●
一宮川河口	●	●	●	神栖市矢田部	●	○	○	御手洗川河口	●	●	●
九十九里浜南部 (木戸川～堀川)	●	○	○	溜沼周辺水田	●	●		岩国市尾津ハス田	●	●	○
九十九里浜北部 (新川～木戸川)	●	●	●	西上之宮町	●	●		千鳥浜・木屋川河口	●	●	●
与田浦水田	●	●	●	越谷レイクタウン・楠木町	●			山口湾	●	●	●
葛西海浜公園	●	●	●	大久保農耕地	●	○	○	大明神川河口、 高須海岸、新川河口	●	●	●
中央防波堤内・ 外側埋立地	●	●	●	北川辺	○			重信川河口	●	●	●
東京港野鳥公園	●	●	●	印旛沼中央排水路	○	○	○	大方町	●	●	●
高松～河北海岸	●	●		印旛沼北部周辺水田	○		○	高知空港周辺	●	●	●
伊川津	●	●	○	甚兵衛広沼周辺水田	●	●	●	博多湾東部(海ノ中道海 浜公園-西戸崎)	●	●	○
汐川干潟				江戸川放水路	○		○	大野島	●	●	●
矢作川河口周辺	●	●	●	行徳鳥獣保護区	○		○	津屋崎	●	●	●
藤前干潟	●	●	●	メッセ駐車場				室見川	●	●	●
雲出川河口五主海岸	●	●	●	塩浜海岸	○	●	○	筑後川河口左岸・永松 荒籠	●	●	●
安濃川河口～ 志登茂川河口	●	●	●	飯岡海岸	●	●	●	早津江川河口(川副町)	●	●	●
愛宕川～榎田川河口	●	●	●	南白亀川～堀川	●	○	○	六角川河口(芦刈町)	●	●	●
大阪南港野鳥園	●	●	●	幕張C浜	○		○	筑後川河口右岸・大詫 間	●	●	●
大阪北港南地区	○		○	流山市新川耕地	○			高田・真玉海岸			
浜甲子園	●	○	●	小見川・外浪逆浦	●	●	○	一ツ葉入り江	●	●	●
吉野川下流域	●	●	●	検見川の浜				鹿児島県別府川			
加茂川河口	●	●	●	夷隅川河口	○	○	○	天降川河口			
曾根干潟	●	●	●	吉尾・鶴原	○	●	●	奄美大島大瀬海岸			○
博多湾東部 (和白・多々良)	●	●	●	いなげの浜			○	翁長干潟	○	●	●
今津干潟	●	●	●	多摩川河口	●	●		与根三角池	●	●	●
大授撮	●	●	●	多摩川下流域 (六郷橋～大師橋)	●	●		米須海岸	●	○	○
鹿島新籠海岸	●	●	●	海老名市勝瀬	●	●	●	羽地内海			
荒尾海岸				河北潟	●	○					
球磨川河口	●	●	●	小舞子海岸							
不知火干潟	●	●	●	千里浜			○				
白川河口	●	●	●	邑知潟	●	●					
氷川	●	●	●	大聖寺川下流水田	●	●	●				
中津干潟	●	●	●	舩倉島航路							
宇佐海岸	●	●	●	舩倉島							
吹上浜海岸				柴山潟	●	●	●				
漫湖	●	●	●	富士川河口	●	●	●				
具志干潟	●	●	●	矢作古川河口	●	●	●				
泡瀬干潟	●	○	●	境川河口	●	●	●				
与那覇湾	●	●	●	愛西市立田							
白保一宮良湾(2)											
調査実施地点数	46	44	45					調査実施地点数	71	64	62
一斉調査 実施地点数	45	37	38					一斉調査 実施地点数	55	56	43
								全国調査実施地点数 (コアサイト、一般サイト)	117	108	107

●: 一斉調査実施 (Surveyed. Implemented the Same period Census)
○: 調査は実施、一斉調査は実施せず (Surveyed. Not Implemented the Same period Census)
空欄は未調査 (Blank, not surveyed), - : 対象外調査地 (Not started Site or Closed Site)

表2 2023年度の一斉調査に基づくシギ・チドリ類、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、ズグロカモメの個体数 Table 2 The number of individuals of the same period census data for Shorebirds, Eurasian Spoonbill (*Platalea leucorodia*), Black-faced Spoonbill (*Platalea minor*), Common Schelduck (*Tadorna tadorna*) and Saunders's Gull (*Larus saundersi*) at Core sites and the General sites in 2023.

種名	Scientific Name	2023年度春期(Spring) 個体数			2023年度秋期(Autumn) 個体数			2023年度冬期(Winter) 個体数		
		コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum	コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum	コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum
タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	0	0	0	0	0	0	337	103	440
ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	51	86	137	43	25	68	13	1	14
ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	439	210	649	127	117	244	168	1	169
ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	458	27	485	382	38	420	1,603	102	1,705
ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>	2	3	5	5	0	5	1	0	1
イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	0	5	5	0	10	10	8	8	16
コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	76	160	236	50	171	221	6	2	8
シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	107	105	212	212	212	424	1,552	240	1,792
メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	686	211	897	475	136	611	273	0	273
オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	11	1	12	7	0	7	10	0	10
ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	598	25	623	87	0	87	437	93	530
セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	8	62	70	60	15	75	5	3	8
ソリハシセイタカシギ	<i>Recurvirostra avosetta</i>	5	1	6	3	0	3	4	0	4
オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	1	1	2	1	0	1	0	0	0
チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>	0	0	0	1	5	6	0	0	0
タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	44	66	110	30	112	142	95	15	110
オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	15	0	15	0	0	0	42	0	42
オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	2	4	6	2	0	2	0	0	0
オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	612	4	616	17	17	34	1	0	1
チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	2,800	853	3,653	87	51	138	78	0	78
ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	4	2	6	8	2	10	266	10	276
ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	44	4	48	10	5	15	1	0	1
ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	51	26	77	2	0	2	4	0	4
アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	1	19	20	11	28	39	59	0	59
コアアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	7	7	14	39	12	51	1	0	1
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	367	17	384	149	121	270	238	7	245
カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	0	0	0	5	1	6	0	0	0
クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	3	13	16	2	25	27	2	8	10
タカフシギ	<i>Tringa glareola</i>	15	1	16	17	11	28	8	0	8
キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	131	155	286	109	83	192	0	0	0
ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	83	76	159	463	162	625	0	0	0
イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	66	25	91	101	79	180	65	28	93
キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	172	16	188	26	17	43	49	0	49
オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	103	16	119	44	3	47	1	0	1
コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	4	0	4	1	1	2	0	0	0
ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>	1,019	202	1,221	266	561	827	276	43	319
トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	688	208	896	991	130	1,121	11	22	33
ヨーロッパトウネン	<i>Calidris minuta</i>	1	1	2	0	1	1	1	0	1
オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	10	1	11	1	1	2	3	0	3
ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	15	35	50	0	7	7	63	4	67
アメリカウズラシギ	<i>Calidris melanotos</i>	0	0	0	1	0	1	0	0	0
ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	52	24	76	0	0	0	0	0	0
サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	2	0	2	0	1	1	0	12	12
ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	7,187	731	7,918	129	18	147	13,703	1,493	15,196
キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>	7	1	8	0	2	2	0	0	0
エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>	3	0	3	12	1	13	0	0	0
アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>	0	0	0	28	0	28	0	0	0
ジシギ類	<i>Gallinago sp.</i>	0	0	0	1	1	2	0	0	0
出現種数	No.ofSpecies	41	38	42	39	35	44	34	19	35
個体数	TotalNumber	15,950	3,404	19,354	4,005	2,182	6,187	19,384	2,195	21,579
ツクシガモ	<i>Tadornatadorna</i>	1,050	325	1,375	0	0	0	5,049	637	5,686
ヘラサギ	<i>Platalealeucorodia</i>	12	4	16	0	2	2	24	32	56
クロツラヘラサギ	<i>Plataleaminor</i>	188	42	230	7	17	24	173	119	292
ズグロカモメ	<i>Larussaundersi</i>	23	2	25	0	0	0	4,671	338	5,009

表 3 2023 年度の各調査期間内におけるシギ・チドリ類, ヘラサギ, クロツラヘラサギ, ツクシガモ, ズグロカモメの最大個体数 Table 3 The maximum number of individuals for Shorebirds, Eurasian Spoonbill (*Platalea leucorodia*), Black-faced Spoonbill (*Platalea minor*), Common Schelduck (*Tadorna tadorna*) and Saunders's Gull (*Larus saundersi*) at Core sites and the General sites from in 2023.

種名	Scientific Name	2023年度春期(Spring) 個体数			2023年度秋期(Autumn) 個体数			2023年度冬期(Winter) 個体数		
		コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum	コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum	コアサイト Core sites	一般サイト General sites	合計 Sum
タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	0	0	0	0	0	0	466	328	794
ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	71	185	256	88	102	190	17	46	63
ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	1,093	510	1,603	563	254	817	891	335	1,226
ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	2,159	193	2,352	1,761	49	1,810	2,280	176	2,456
ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>	4	3	7	7	1	8	6	3	9
ミズカキチドリ	<i>Charadrius semipalmatus</i>	0	0	0	1	0	1	0	0	0
イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	0	9	9	17	34	51	11	18	29
コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	157	297	454	343	294	637	48	37	85
シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	322	195	517	755	306	1,061	2,569	672	3,241
メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	1,241	413	1,654	1,168	224	1,392	402	296	698
オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	25	1	26	48	1	49	40	0	40
ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	763	42	805	332	19	351	656	217	873
セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	52	91	143	126	31	157	7	27	34
ソリハシセイタカシギ	<i>Recurvirostra avosetta</i>	7	1	8	4	1	5	9	3	12
ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	0	0	0	0	0	0	0	7	7
オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	20	15	35	15	11	26	0	0	0
ハリオシギ	<i>Gallinago stenura</i>	0	0	0	4	0	4	0	0	0
チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>	0	1	1	2	5	7	0	0	0
タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	85	129	214	69	143	212	117	79	196
オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	16	1	17	5	3	8	42	1	43
シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i>	4	0	4	0	0	0	0	0	0
オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	16	5	21	30	2	32	1	1	2
オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	985	82	1,067	86	30	116	2	0	2
チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	4,936	1,898	6,834	356	61	417	102	3	105
ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	19	6	25	36	3	39	320	15	335
ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	65	9	74	72	16	88	2	0	2
ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	73	30	103	11	15	26	11	0	11
アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	19	23	42	98	37	135	108	23	131
コアアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	25	15	40	131	43	174	6	5	11
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	1,133	170	1,303	1,158	196	1,354	344	74	418
カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	0	0	0	9	1	10	0	0	0
クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	6	27	33	15	46	61	9	30	39
タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	40	44	84	159	90	249	9	3	12
キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	2,504	1,150	3,654	1,768	455	2,223	45	3	48
ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	665	128	793	2,199	658	2,857	0	8	8
イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	96	110	206	195	143	338	115	86	201
キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	1,613	311	1,924	334	35	369	102	49	151
オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	279	71	350	204	28	232	2	0	2
コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	8	1	9	17	5	22	1	0	1
ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	1,201	353	1,554	1,389	772	2,161	1,061	329	1,390
ヒメハマシギ	<i>Calidris mauri</i>	0	0	0	1	0	1	0	0	0
トウネン	<i>Calidris ruftollis</i>	5,486	1,740	7,226	2,577	494	3,071	62	33	95
ヨーロッパトウネン	<i>Calidris minuta</i>	3	2	5	7	4	11	3	0	3
オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	10	2	12	9	5	14	4	7	11
ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	15	42	57	48	25	73	72	37	109
ヒメウズラシギ	<i>Calidris bairdii</i>	0	0	0	0	0	0	6	0	6
アメリカウズラシギ	<i>Calidris melanotos</i>	0	0	0	4	0	4	0	0	0
ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	160	33	193	18	2	20	0	0	0
サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	26	6	32	4	1	5	0	12	12
ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	24,048	2,503	26,551	3,018	35	3,053	20,515	3,121	23,636
ヘラシギ	<i>Calidris pygmaea</i>	0	0	0	1	0	1	0	0	0
キリアイ	<i>Calidris falcinellus</i>	11	1	12	24	2	26	0	0	0
エリマキシギ	<i>Calidris pugnax</i>	4	1	5	22	8	30	0	0	0
アカエリヒレアシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>	1	16	17	30	2	32	0	0	0
タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	2	5	7	1	5	6	0	0	0
ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	5	2	7	8	3	11	0	0	0
シギ科	<i>Scolopaciidae</i>	250	83	333	5	40	45	0	0	0
ジシギ類	<i>Gallinago sp.</i>	0	0	0	1	6	7	0	0	0
出現種数	No.ofSpecies	45	46	47	52	47	52	38	33	41
個体数	TotalNumber	49,723	10,955	60,678	19,353	4,746	24,099	30,463	6,084	36,547
ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	1,384	359	1,743	0	0	0	6,022	703	6,725
ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>	35	10	45	7	2	9	79	35	114
クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	290	99	389	87	46	133	397	126	523
ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i>	143	4	147	7	0	7	5,579	428	6,007

2. 一斉調査基準日付近の調査実施率

春期の一斉調査期間に参加した 103 サイトのうち、基準日である 4 月 23 日に調査を実施したサイトは 43 サイト(41.7%)で、前後 2 日を含めた 5 日間では 75 サイト(72.8%)であった(図 5-1)。

秋期の一斉調査期間に参加した 93 サイトのうち、基準日である 9 月 17 日に調査を実施したサイトは、40 サイト(43.0%)で、前後 2 日を含めた 5 日間では 74 サイト(79.6%)であった(図 5-2)。

冬期の一斉調査期間に参加した 86 サイトのうち、基準日である 1 月 14 日に調査を実施したサイトは、38 サイト(45.8%)で、前後 2 日を含めた 5 日間では 61 サイト(73.5%)であった(図 5-3)。

前後 2 日間を含めた一斉調査基準日付近の調査実施率は、春期、秋期、冬期の実施率はいずれも 70%を上回った。特に秋期は前年度約 60%程度であったため大きく回復した。調査の実施率を向上させるため、継続してデータをとることの重要性を説明や、不参加理由の分析を行う。

また、基準日の前後 2 日を含めた 5 日間のシギ・チドリ類の観察個体数(ツクシガモ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメは除く)については、春期(64.8%)、秋期(69.7%)、冬期(70.7%)とも 60%を越える記録率だった(図 6)。

一斉調査期間中に確認されたシギ・チドリ類種数の記録率(図 7)については、春期、秋期は、基準日の前後 1 日間以内の一斉調査期間中に確認された種の 95%以上が観察された。冬期においては全種の確認まで前後 7 日を要した。

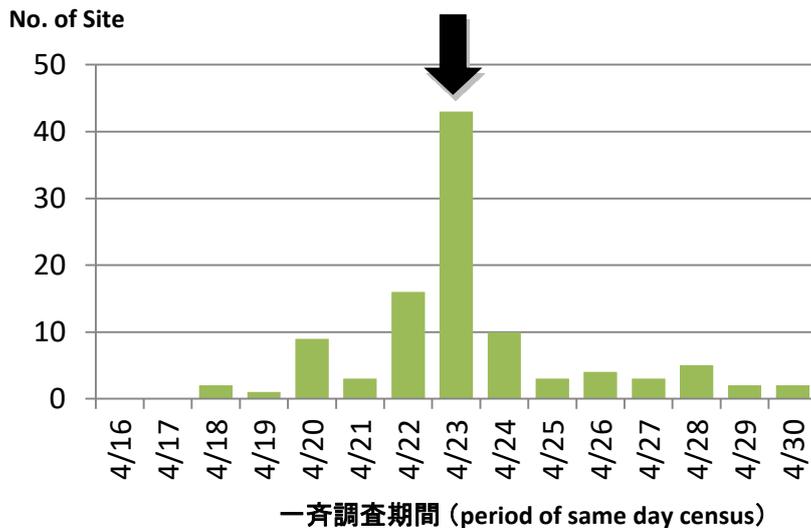


図 5-1 春期の一斉調査日の分布 (矢印は一斉調査基準日)

春期の一斉調査参加サイトのうち、一斉調査基準日(4月23日)に41.7%の調査サイト、前後2日を含む5日間で72.8%の調査サイトにおいて調査が実施された。

Fig. 5-1 Distribution of the north-migration period survey date for the same period census data. (An arrow indicates the standard the same period census day.) The 41.7% of the survey was conducted at the standard day (23 Apr. 2023) and 72.8% was conducted during 5 days including 2 days before and 2 days after of the standard day.

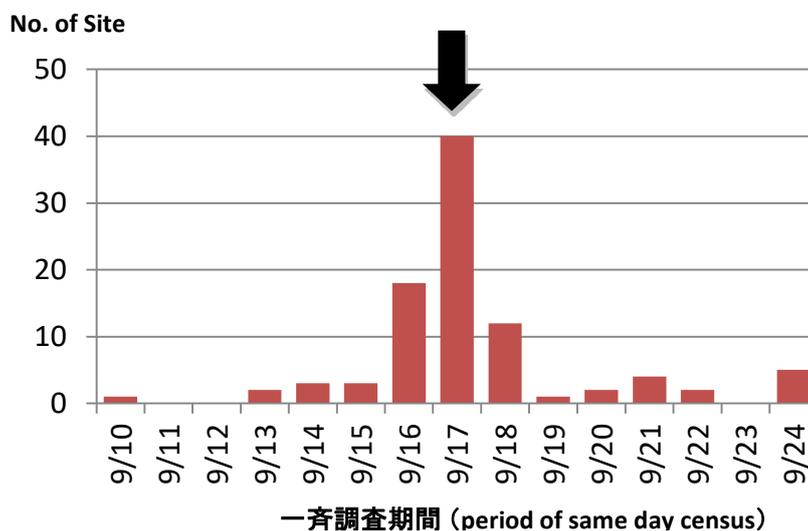


図 5-2 秋期の一斉調査日の分布 (矢印は一斉調査基準日)

秋期の一斉調査参加サイトのうち、一斉調査基準日(9月17日)に43.0%の調査サイト、前後2日を含む5日間で79.6%の調査サイトにおいて調査が実施された。

Fig. 5-2 Distribution of the south-migration period survey date for the same period census data. (An arrow indicates the standard the same period census day.) The 43.0% of the survey was conducted at the standard day (17 Sep. 2023) and 79.6% was conducted during 5 days including 2 days before and 2 days after of the standard day.

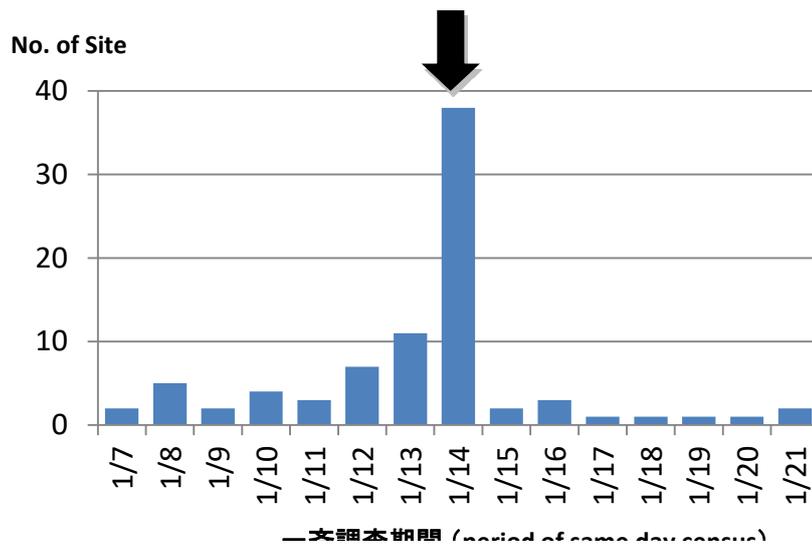


図 5-3 冬期の一斉調査日の分布 (矢印は一斉調査基準日)

冬期の一斉調査参加サイトのうち、一斉調査基準日(1月14日)に45.8%の調査サイト、前後2日を含む5日間で73.5%の調査サイトにおいて調査が実施された。

Fig. 5-3 Distribution of the non-breeding season survey date for the same period census data. (An arrow indicates the standard the same period census day.) The 45.8% of the survey was conducted at the standard day (14 Jan. 2024) and 73.5% was conducted during

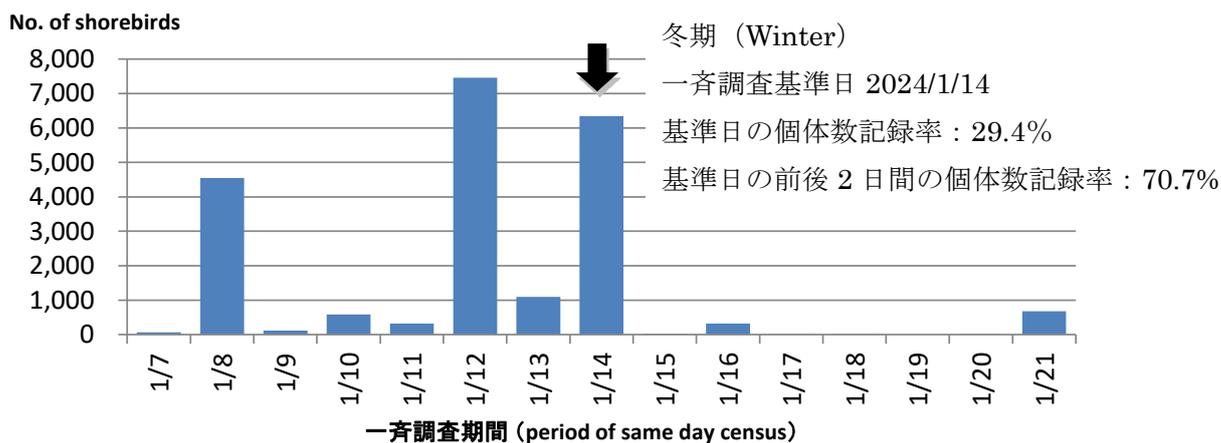
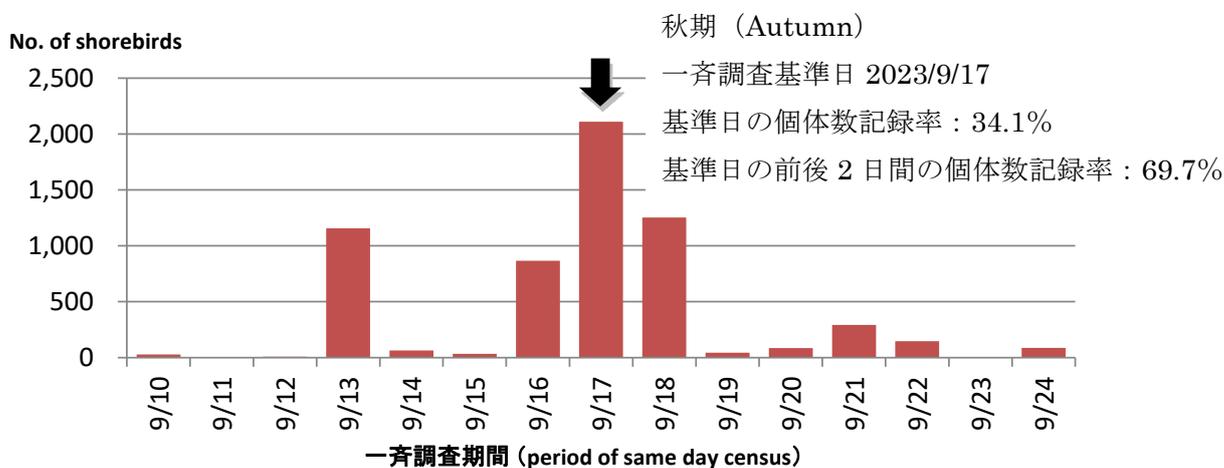
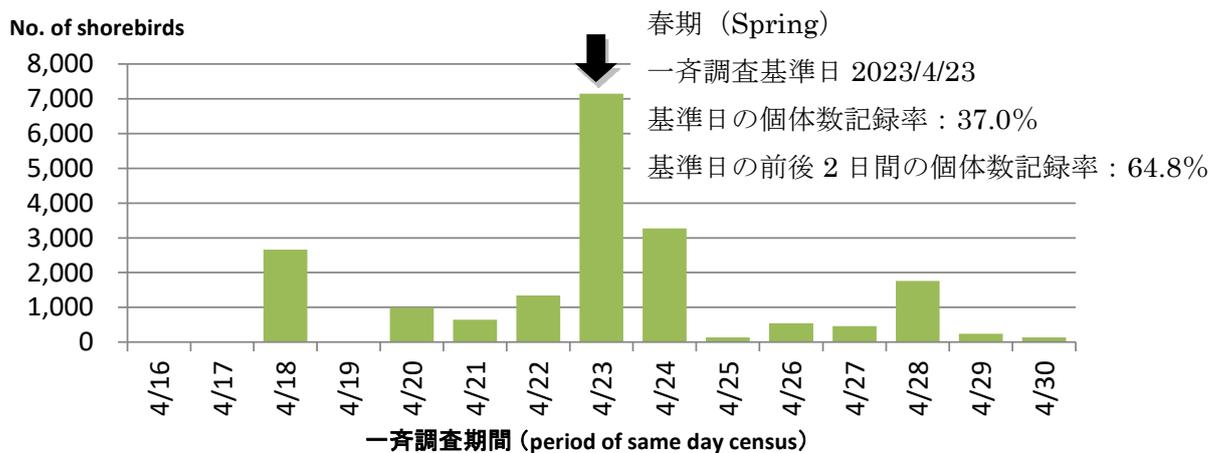


図 6 各期の一斉調査期間におけるシギ・チドリ類の記録個体数の分布(矢印は一斉調査基準日)

Fig. 6 Distribution of the recorded number of shorebirds during conducted the same period census (An arrow indicates the standard the same period census day in each season.).

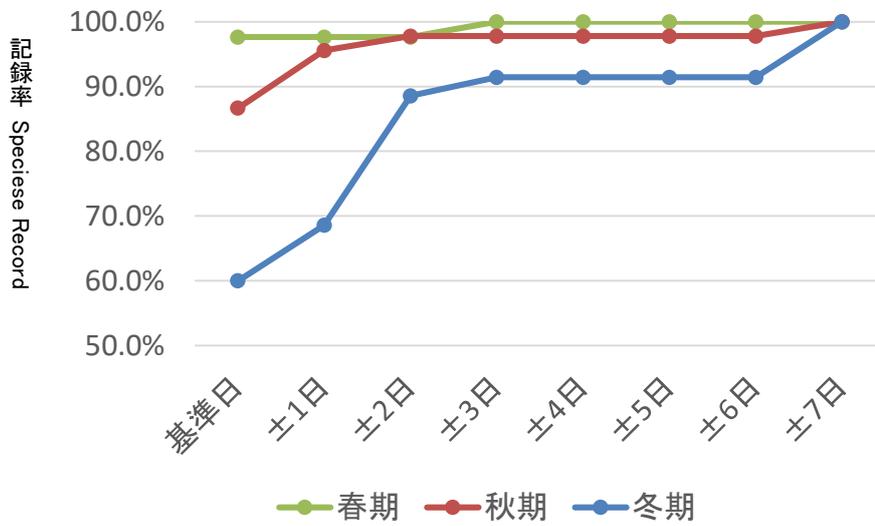


図 7 各期の一斉調査期間と記録されたシギ・チドリ類種数の関係

一斉調査基準日から前後 1 日ずつ期間を広げていった場合の種数の記録率の変化を示す。

Fig. 7 Relationship between the recorded rate of species and census period.

The change at the time of every extending a period from the standard the same period census day approximately on the 1st is shown.

3. 優占種

春期のシギ・チドリ類の調査期間中の最大個体数に基づく優占種上位 10 種とその優占率を表 4-1 と図 8-1 に示した。春期の最大個体数の優占率が高かったシギ・チドリ類上位 5 種は、ハマシギ(44.0%)、トウネン(12.0%)、チュウシャクシギ(11.3%)、キアシシギ(6.1%)、ダイゼン(3.9%)であった。

表 4-1 2023 年度春期のシギ・チドリ類最大個体数上位 10 種の種構成

Table 4-1 Species composition in best 10 of the maximum number of shorebirds recorded in spring 2023.

種名	学名	最大 個体数	優占率
ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	26,551	44.0%
トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	7,226	12.0%
チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	6,834	11.3%
キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	3,654	6.1%
ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	2,352	3.9%
キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	1,924	3.2%
メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	1,654	2.7%
ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	1,603	2.7%
ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>	1,554	2.6%
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	1,303	2.2%
その他	The others	5,690	9.5%
全種合計 Total No. of individuals of all species		60,345	100.0%

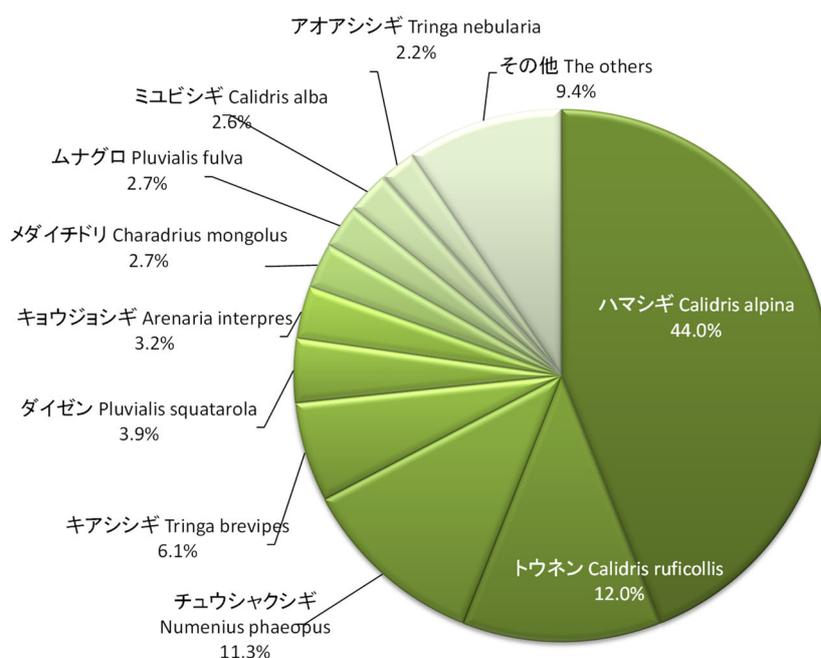


図 8-1 2023 年度春期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類の種構成

Fig. 8-1 Species composition of the maximum number of shorebirds recorded in spring 2023.

秋期のシギ・チドリ類の調査期間中の最大個体数に基づく優占種上位 10 種とその優占率を表 4-2 と図 8-2 に示した。秋期の最大個体数の優占率が高かったシギ・チドリ類上位 5 種は、トウネン (12.8%)、ハマシギ (12.7%)、ソリハシシギ (11.9%)、キアシシギ (9.2%)、ミュビシギ (9.0%) であった。

表 4-2 2023 年度秋期のシギ・チドリ類最大個体数上位 10 種の種構成

Table 4-2 Species composition in best 10 of the maximum number of shorebirds recorded in autumn 2023.

種名	学名	最大 個体数	優占率
トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	3,071	12.8%
ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	3,053	12.7%
ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	2,857	11.9%
キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	2,223	9.2%
ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>	2,161	9.0%
ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	1,810	7.5%
メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	1,392	5.8%
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	1,354	5.6%
シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	1,061	4.4%
ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	817	3.4%
その他	The others	4,248	17.7%
全種合計	Total No. of individuals of all species	24,047	100.0%

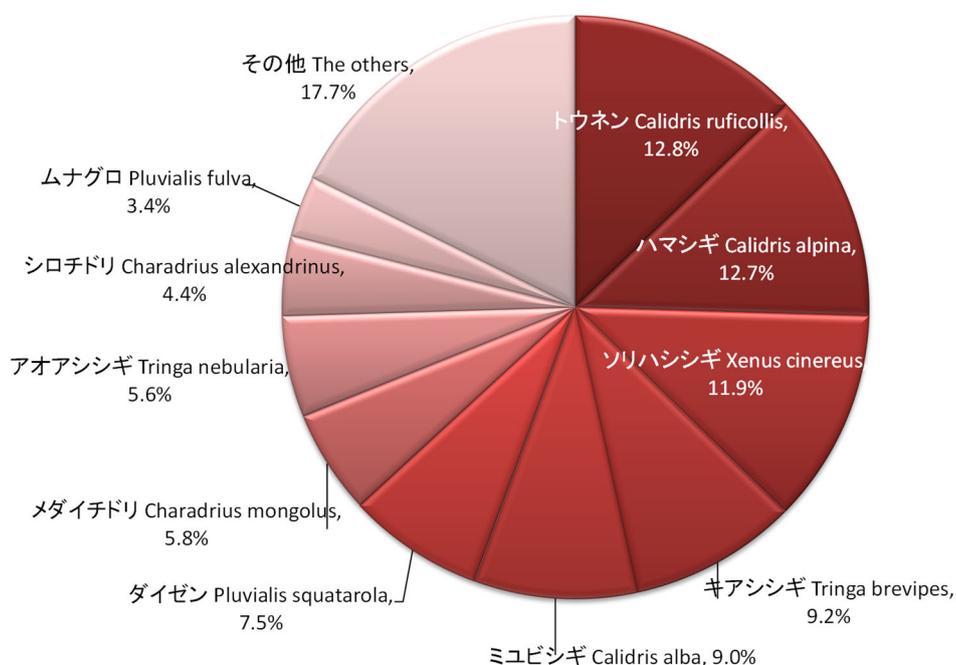


図 8-2 2023 年度秋期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類の種構成

Fig. 8-2 Species composition of the maximum number of shorebirds recorded in autumn 2023.

冬期のシギ・チドリ類の調査期間中の最大個体数データに基づく優占種上位 10 種とその優占率を表 4-3 と図 8-3 に示した。冬期の最大個体数の優占率が高かったシギ・チドリ類上位 5 種は、ハマシギ(64.7%)、シロチドリ(8.9%)、ダイゼン(6.7%)、ミュビシギ(3.8%)、ムナグロ(3.4%)であった。

表 4-3 2023 年度冬期のシギ・チドリ類最大個体数上位10種の種構成

Table 4-3 Species composition in best 10 of the maximum number of shorebirds recorded in winter 2023-24.

種名	学名	最大 個体数	優占率
ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	23,636	64.7%
シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	3,241	8.9%
ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	2,456	6.7%
ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>	1,390	3.8%
ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	1,226	3.4%
ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	873	2.4%
タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	794	2.2%
メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	698	1.9%
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	418	1.1%
ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	335	0.9%
その他	The others	1,480	4.0%
全種合計 Total No. of individuals of all species		36,547	100.0%

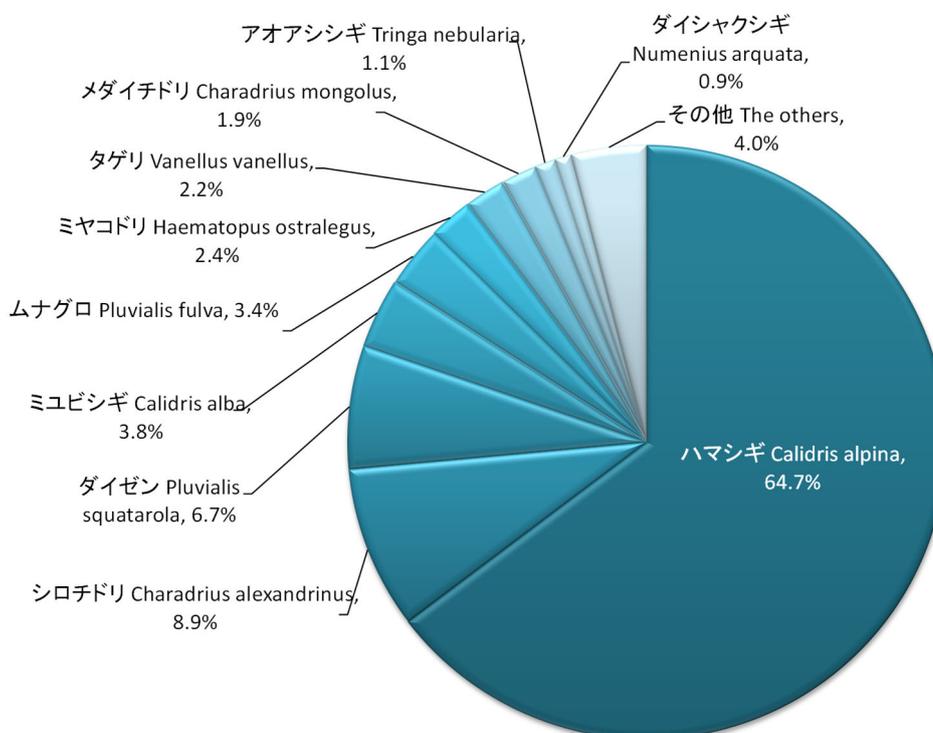


図 8-3 2023 年度冬期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類の種構成

Fig. 8-3 Species composition of the maximum number of shorebirds recorded in winter 2023-24

4. 渡来数

シギ・チドリ類の大規模渡来地とその渡来状況を把握するために、春期、秋期、冬期の調査期間中の全種の最大個体数の合計値順に調査サイトを示した(表 5-1～5-3)。着色部分のサイトはコアサイトを示す。

春期、秋期、冬期いずれも、上位を九州地域のコアサイトが占める結果となり、例年と同様の結果であった。

表 5-1 2023 年度春期の最大個体数順によるシギ・チドリ類の渡来数一覧

Table 5-1 The study sites in descending order of the maximum number of shorebirds in spring 2023.

サイト名	Site Name	最大数	サイト名	Site Name	最大数
大授瀬	Daijugarami	15,988	高知空港周辺	Kochi Airport Surrounding area	131
中津干潟	Nakatsu-Higata	4,229	印旛沼北部周辺水田	Inba-numa Hokubu syuhen Suiden	127
三番瀬	Sanbanze	3,125	室見川	Muromi-gawa	122
球磨川河口	Kuma-gawa Kako	2,323	一宮川河口	Ichinomiya-gawa Kako	116
藤前干潟	Fujimae Higata	2,048	和歌浦干潟	Wakaura-Tidflat	116
氷川	Hikawa	1,767	真志干潟	Gushi Higata	109
白川河口	Shira-kawa Kako	1,641	邑知潟	Ochi-gata	108
高松～河北海岸	Takamatsu Kahoku Kaigan	1,627	岩国市尾津ハス田	Iwakuni-shi Ozu Hasuda	108
不知火干潟	Siranui Higata	1,498	愛宕川～榎田川河口	Atago-gawa・Kushida-gawa Kako	106
野付崎・尾袋沼	Notsuke-zaki・Odaito	1,364	八幡川河口	Yahata-gawa Kako	101
鹿島新籠海岸	Kashima Shingomori Kaigan	1,326	矢作川河口周辺	Yahagi-gawa Kako Shuhen	100
曾根干潟	Sone Higata	1,199	蕪栗沼	Kabukuri-numa	97
瀧沸湖	Tofutsu-ko	1,145	富士川河口	Fuji-gawa Kako	94
谷津干潟	Yatsu Higata	1,081	小見川・外浪逆浦	Omigawa-Sotonasakaura	88
早津江川河口(川副町)	Hayatsue-gawa Kako (Kawasoe-machi)	1,076	安芸西条・八本松	Akisajyou-hatihonmatsu	88
吉野川下流域	Yoshino-gawa Karyu-iki	1,018	鹿島灘	Kashima-nada	81
風蓮湖北部	Furen Lake North	1,002	多摩川河口	Tama-gawa Kako	74
加茂川河口	Kamo-gawa Kako	794	酒沼周辺水田	Hinuma syuhen suiden	73
泡瀬干潟	Awase Higata	773	越谷レイクタウン・柿木町	Koshigaya-LakeTown・Kakinoki-chou	71
大阪南港野鳥園	Nanko Yachoen	647	翁長干潟	Okina Higata	71
木戸川～堀川(九十九里浜南部)	Kido-kawa Hori-kawa (Kujukuri-hama Nanbu)	529	浜甲子園	Hamakoshien	65
千鳥浜・木屋川河口	Chidorihama・Kiya-gawa kako	499	河北潟	Kahoku-gata	62
安濃川河口～志登茂川河口	Ano-gawa Kako・Shitomo-gawa Kako	495	六角川河口(芦刈町)	Rokkaku-gawa Kako (Ashikari-cho)	62
稚内市声間	Wakkanai-shi Koetoi	466	大聖寺川下流水田	Daishoji-gawa Karyu Suiden	60
高梁川河口干潟周辺	Takahashigawa estuary tidalfat around	458	大阪北港南地区	Osaka Hokko Minami-chiku	57
矢作古川河口	Yahagihuru-kawa Kako	438	鈴鹿川河口～鈴鹿派川河口	Suzuka-gawa Kako・Suzuka-hasen Kako	55
鳥の海	Torinoumi	426	柴山潟	Shibayama-gata	52
山口湾	Yamaguti-wan	423	飯梨川河口	Iinashi-gawa Kako	51
大明神川河口、高須海岸、新川河口	Daimyojin-gawa Kako Takasu Kaigan Shin-kawa Kako	403	多摩川下流域(六郷橋～大師橋)	Tama-gawa Karyuiki(Rokugobashi Taishibashi)	50
コムケ湖	Komuke-ko	387	鶴川河口	Mukawa Kako	47
葛西海浜公園	Kasai Kaihinkoen	385	夷隅川河口	Isumigawa kako	46
宇佐海岸	Usa Kaigan	383	福島県中部水田地帯	Fukushima-ken Chubu Suiden-chitai	45
風蓮湖南部	Furen Lake South	377	東京港野鳥公園 前浜干潟	Tokyo Port Wild Bird Park Mehama-tidalfat	43
伊川津	Ikawazu	336	新舞子浜	Shinmaiko hama	40
広浦	Hiro-ura	319	香良洲海岸	Karasu-kaigan	39
大野島	Onoshima	307	北川辺	Kitakawabe	38
高瀬川河口	Takase-gawa Kako	302	筑後川河口左岸・永松荒籠	Chikugo River Estuary Left Bank Nagamatsuarako	37
霞ヶ浦南岸稲敷市浮島	Kasumigaura Nangan Inashiki-shi Ukishima	301	蒲生干潟	Gamou-higata	36
重信川河口	Shigenobu-gawa Kako	300	巨椋池干拓田	Ogura-ike Kantakuden	31
豊津浦～町屋浦	Toyotsu-ura、Machiya-ura	286	幕張C浜	Makuhari shi-hama	27
新川～木戸川(九十九里浜北部)	Shin-kawa Kido-kawa (Kujukuri-hama Hokubu)	283	東京港野鳥公園	Tokyo Port Wild Bird Park Shioiri Pond	25
高瀬川河口～むつ小川原港	Takasegawa Kako-Mutsuogawarakou	281	飯岡海岸	Iioka Kaigan	17
境川河口	Sakai-gawa Kako	280	甚兵衛広沼周辺水田	Jinbeihiro-numa syuhen Suiden	15
松川浦	Matsukawa-ura	241	博多湾東部(海ノ中道海浜公園-西戸崎)(b)	Hakata-wan Tobu (Saitozaki)	14
盤洲	Banzu	239	塩浜海岸	Shiohama-kaigan	12
南白亀川～堀川	Nabaki-gawa Hori-kawa	239	行徳鳥獣保護区	Gyotoku Choju Hogoku	11
与田浦水田	Yodaura Suiden	221	大方町	Ogata-cho	10
中央防波堤内・外側埋立地	Chuo-bohatei Uchi Sotogawa Umetatechi	218	津屋崎	Tsuyazaki	10
博多湾東部(和白・多々良)	Hakata-wan Tobu (Wajiro・Tatara)	202	海老名市勝瀬	Ebina-shi Katsuse	8
栃木県南部水田地帯	Tochigi-ken Nanbu Suiden-chitai	197	神栖市矢田部	Kamisu-shi Yatabe	7
雲出川河口五主海岸	Kumozu-gawa Kako・Gonushi Kaigan	197	佐陀川	Sada-gawa	7
与那覇湾	Yonaha-wan	196	波崎新港	Hasaki Shinko	5
今津干潟	Imazu Higata	187	筑後川河口右岸・大詫間	Chikugo River Estuary Right Bank Oodakuma	5
米須海岸	Komesu Kaigan	183	大久保農耕地	Okubo-nokochi	4
江戸川放水路	Edo-gawa Hosuuro	176	一ツ葉入り江	Hitotsuba Irie	4
阪内川河口	Sakanai-gawa Kako	173	神栖市高浜	Kamisu-shi Takahama	0
御手洗川河口	Mitarai-gawa-estuary	173	印旛沼中央排水路	Inba-numa chuouhaisuuro	0
牛橋河口	Ushibashi-kakou	148	流山市新川耕地	Nagareyama-shi Shin-kawa Kochi	0
与根三角池	Yone Sankaku-ike	144	吉尾・鶴原	Yoshio・Ubara	0
漫湖	Man-ko	131			

表 5-2 2023 年度秋期の最大個体数順によるシギ・チドリ類の渡来数一覧

Table 5-2 The study sites in descending order of the maximum number of shorebirds in autumn 2023.

サイト名	Site	最大数	サイト名	Site	最大数
大授棚	Daijugarami	5,093	今津干潟	Imazu Higata	69
野付崎・尾岱沼	Notsuke-zaki・Odaito	1,382	巨椋池干拓田	Ogura-ike Kantakuden	68
風蓮湖北部	Furen Lake North	1,353	大明神川河口、高須海岸、新川河口	Daimyojin-gawa Kako Takasu Kaigan Shin-kawa Kako	64
白川河口	Shira-kawa Kako	1,050	神栖市高浜	Kamisu-shi Takahama	63
球磨川河口	Kuma-gawa Kako	976	和歌浦干潟	Wakaura-Tidflat	62
コムケ湖	Komuke-ko	734	伊川津	Ikawazu	61
宇佐海岸	Usa Kaigan	699	曾根干潟	Sone Higata	59
氷川	Hikawa	682	矢作古川河口	Yahagihuru-kawa Kako	58
高松～河北海岸	Takamatsu Kahoku Kaigan	673	鹿島灘	Kashima-nada	55
泡瀬干潟	Awase Higata	647	香良洲海岸	Karasu-kaigan	55
三番瀬	Sanbanze	617	飯岡海岸	Iioka Kaigan	53
中津干潟	Nakatsu-Higata	534	飯内川河口	Sakanai-gawa Kako	52
千里浜	Chiri-hama	522	博多湾東部(海ノ中道海浜公園-西戸崎)(b)	Hakata-wan Tobu (Saitozaki)	52
木戸川～堀川(九十九里浜南部)	Kido-kawa Hori-kawa (Kujukuri-hama Nanbu)	479	豊津浦～町屋浦	Toyotsu-ura, Machiya-ura	48
不知火干潟	Siranui Higata	477	霞ヶ浦南岸稲敷市浮島	Kasumigaura Nangan Inashiki-shi Ukishima	47
加茂川河口	Kamo-gawa Kako	350	富士川河口	Fuji-gawa Kako	47
千鳥浜・木屋川河口	Chidorihama・Kiya-gawa kako	313	多摩川下流域(六郷橋～大師橋)	Tama-gawa Karyuiki(Rokugobashi Taishibashi)	46
藤前干潟	Fujimae Higata	308	御手洗川河口	Mitarraigawa-estuary	44
高瀬川河口～むつ小川原港	Takasegawa Kako-Mutsuogawarakou	300	河北潟	Kahoku-gata	43
翁長干潟	Okina Higata	266	大方町	Ogata-cho	37
漫湖	Man-ko	265	飯梨川河口	Iinashi-gawa Kako	36
中央防波堤内・外側埋立地	Chuo-bohatei Uchi Sotogawa Umetatechi	261	東京港野鳥公園	Tokyo Port Wild Bird Park Shioiri Pond	35
西上之宮町	Nishikaminomiya-machi	251	東京港野鳥公園 前浜干潟	Tokyo Port Wild Bird Park Mehama-tidflat	32
早津江川河口(川副町)	Hayatsue-gawa Kako (Kawasoe-machi)	242	蕪栗沼	Kabukuri-numa	32
瀧沸湖	Tofutsu-ko	224	邑知潟	Ochi-gata	32
谷津干潟	Yatsu Higata	195	風蓮湖南部	Furen Lake South	31
栃木県南部水田地帯	Tochigi-ken Nanbu Suiden-chitai	183	新舞子浜	Shinmaiko hama	31
大野島	Onoshima	182	鈴鹿川河口～鈴鹿派川河口	Suzuka-gawa Kako・Suzuka-hasen Kako	26
吉野川下流域	Yoshino-gawa Karyu-iki	177	柴山潟	Shibayama-gata	25
大阪南港野鳥園	Nanko Yachoen	172	境川河口	Sakai-gawa Kako	23
筑後川河口右岸・大詫間	Chikugo River Estuary Right Bank Oodakuma	172	山口湾	Yamaguti-wan	23
新川～木戸川(九十九里浜北部)	Shin-kawa Kido-kawa (Kujukuri-hama Hokubu)	169	甚兵衛広沼周辺水田	Jinbeihoro-numa syuhen Suiden	21
盤洲	Banzu	166	蒲生干潟	Gamou-higata	20
雲出川河口五主海岸	Kumozu-gawa Kako・Gonushi Kaigan	165	六角川河口(芦刈町)	Rokkaku-gawa Kako (Ashikari-cho)	18
矢作川河口周辺	Yahagi-gawa Kako Shuhen	159	浜甲子園	Hamakoshien	16
稚内市声間	Wakkanai-shi Koetoi	139	八幡川河口	Yahata-gawa Kako	14
与那覇湾	Yonaha-wan	138	牛橋河口	Ushibashi-kakou	12
波崎新港	Hasaki Shinko	132	海老名市勝瀬	Ebina-shi Katsuse	10
安濃川河口～志登茂川河口	Ano-gawa Kako・Shitomo-gawa Kako	130	大聖寺川下流水田	Daishoji-gawa Karyu Suiden	10
米須海岸	Komesu Kaigan	122	多摩川河口	Tama-gawa Kako	9
具志干潟	Gushi Higata	121	高瀬川河口	Takase-gawa Kako	8
一宮川河口	Ichinomiya-gawa Kako	118	松川浦	Matsukawa-ura	8
与根三角池	Yone Sankaku-ike	109	一ツ葉入り江	Hitotsuba Irie	8
重信川河口	Shigenobu-gawa Kako	107	佐陀川	Sada-gawa	4
室見川	Muromi-gawa	106	南白亀川～堀川	Nabaki-gawa Hori-kawa	3
博多湾東部(和白・多々良)	Hakata-wan Tobu (Wajiro・Tatara)	101	大久保農耕地	Okubo-nokochi	2
高粱川河口干潟周辺	Takahashigawa estuary tidflat around	99	夷隅川河口	Isumigawa kako	2
広浦	Hiro-ura	92	津屋崎	Tsuyazaki	1
葛西海浜公園	Kasai Kaihinkoen	89	筑後川河口左岸・永松荒籠	Chikugo River Estuary Left Bank Nagamatsuarako	1
涸沼周辺水田	Hinuma syuhen suiden	86	与田浦水田	Yodaura Suiden	0
鹿島新籠海岸	Kashima Shingomori Kaigan	82	神栖市矢田部	Kamisu-shi Yatabe	0
岩国市尾津ハス田	Iwakuni-shi Ozu Hasuda	81	印旛沼中央排水路	Inba-numa chuouhaisuiro	0
安芸西条・八本松	Akisaiyou-hatihonmatsu	80	塩浜海岸	Shiohama-kaigan	0
高知空港周辺	Kochi Airport Surrounding area	77	小見川・外浪逆浦	Omigawa-Sotonasakaura	0
鶴川河口	Mukawa Kako	76	吉尾・鶴原	Yoshio・Ubara	0

表 5-3 2023 年度冬期の最大個体数順によるシギ・チドリ類の渡来数一覧

Table 5-3 The study sites in descending order of the maximum number of shorebirds in winter 2023-24.

サイト名	Site	最大数	サイト名	Site	最大数
大授瀬	Daijugarami	7,950	千鳥浜・木屋川河口	Chidorihama・Kiya-gawa kako	55
白川河口	Shira-kawa Kako	3,040	与田浦水田	Yodaura Suiden	54
中津干潟	Nakatsu-Higata	2,047	津屋崎	Tsuyazaki	47
三番瀬	Sanbanze	1,912	矢作古川河口	Yahagihuru-kawa Kako	40
泡瀬干潟	Awase Higata	1,681	八幡川河口	Yahata-gawa Kako	40
永川	Hikawa	1,566	大野島	Onoshima	40
不知火干潟	Siranui Higata	1,334	蒲生干潟	Gamou-higata	35
球磨川河口	Kuma-gawa Kako	1,193	小見川・外浪逆浦	Omigawa-Sotonasakaura	33
吉野川下流域	Yoshino-gawa Karyu-iki	1,042	波崎新港	Hasaki Shinko	31
藤前干潟	Fujimae Higata	944	鳥の海	Torinoumi	31
加茂川河口	Kamo-gawa Kako	924	中央防波堤内・外側埋立地	Chuo-bohatei Uchi Sotogawa Umetatechi	27
豊津浦～町屋浦	Toyotsu-ura, Machiya-ura	736	印旛沼北部周辺水田	Inba-numa Hokubu syuhen Suiden	25
盤洲	Banzu	729	千里浜	Chiri-hama	24
早津江川河口(川副町)	Hayatsue-gawa Kako (Kawasoe-machi)	692	柴山潟	Shibayama-gata	24
宇佐海岸	Usa Kaigan	668	栃木県南部水田地帯	Tochigi-ken Nanbu Suiden-chitai	20
谷津干潟	Yatsu Higata	594	幕張C浜	Makuhari shi-hama	18
葛西海浜公園	Kasai Kaihinkoen	483	大方町	Ogata-cho	18
曾根干潟	Sone Higata	453	一ツ葉入り江	Hitotsuba Irie	18
高梁川河口干潟周辺	Takahashigawa estuary tidalflat around	451	六角川河口(芦刈町)	Rokkaku-gawa Kako (Ashikari-cho)	16
米須海岸	Komesu Kaigan	442	矢作川河口周辺	Yahagi-gawa Kako Shuhen	13
安濃川河口～志登茂川河口	Ano-gawa Kako・Shitomo-gawa Kako	424	野付崎・尾岱沼	Notsuke-zaki・Odaito	12
与那覇湾	Yonaha-wan	416	御手洗川河口	Mitaraigawa-estuary	12
奄美大島大瀬海岸	Amamioshima oose-kaigan	364	甚兵衛広沼周辺水田	Jinbeihoro-numa syuhen Suiden	11
室見川	Muromi-gawa	353	蕪栗沼	Kabukuri-numa	10
新川～木戸川(九十九里浜北部)	Shin-kawa Kido-kawa (Kujukuri-hama Hokubu)	342	大聖寺川下流水田	Daishoji-gawa Karyu Suiden	9
愛宕川～櫛田川河口	Atago-gawa・Kushida-gawa Kako	342	風蓮湖北部	Furen Lake North	8
雲出川河口五主海岸	Kumozu-gawa Kako・Gonushi Kaigan	332	新舞子浜	Shinmaiko hama	6
鹿島新籠海岸	Kashima Shingomori Kaigan	321	浜甲子園	Hamakoshien	5
飯梨川河口	Iinashi-gawa Kako	306	神栖市矢田部	Kamisu-shi Yatabe	5
霞ヶ浦南岸稲敷市浮島	Kasumigaura Nangan Inashiki-shi Ukishima	283	夷隅川河口	Isumigawa kako	5
木戸川～堀川(九十九里浜南部)	Kido-kawa Hori-kawa (Kujukuri-hama Nanbu)	271	筑後川河口右岸・大詫間	Chikugo River Estuary Right Bank Oodakuma	5
山口湾	Yamaguti-wan	249	鹿島灘	Kashima-nada	4
筑後川河口左岸・永松荒籠	Chikugo River Estuary Left Bank Nagamatsuarako	244	高瀬川河口～むつ小川原港	Takasegawa Kako-Mutsuogawarakou	4
博多湾東部(和白・多々良)	Hakata-wan Tobu (Wajiro・Tatara)	219	塩浜海岸	Shiohama-kaigan	4
阪内川河口	Sakanai-gawa Kako	217	安芸西条・八本松	Akisaijyou-hatihonmatsu	4
一宮川河口	Ichinomiya-gawa Kako	181	東京港野鳥公園 前浜干潟	Tokyo Port Wild Bird Park Mehama-tidalflat	3
博多湾東部(海ノ中道海浜公園-西戸崎)(b)	Hakata-wan Tobu (Saitozaki)	176	飯岡海岸	Iioka Kaigan	3
漫湖	Man-ko	171	コムケ湖	Komuke-ko	2
富士川河口	Fuji-gawa Kako	168	行徳鳥獣保護区	Gyotoku Chouju Hogoku	2
具志干潟	Gushi Higata	149	鈴鹿川河口～鈴鹿派川河口	Suzuka-gawa Kako・Suzuka-hasen Kako	2
境川河口	Sakai-gawa Kako	143	神栖市高浜	Kamisu-shi Takahama	1
岩国市尾津ハス田	Iwakuni-shi Ozu Hasuda	141	東京港野鳥公園	Tokyo Port Wild Bird Park Shioiri Pond	1
重信川河口	Shigenobu-gawa Kako	126	大阪北港南地区	Osaka Hokko Minami-chiku	1
伊川津	Ikawazu	124	大久保農耕地	Okubo-nokochi	1
大明神川河口、高須海岸、新川河口	Daimyojin-gawa Kako Takasu Kaigan Shin-kawa Kako	118	南白亀川～堀川	Nabaki-gawa Hori-kawa	1
与根三角池	Yone Sankaku-ike	118	吉尾・鶴原	Yoshio・Ubara	1
江戸川放水路	Edo-gawa Hosuiro	99	海老名市勝瀬	Ebina-shi Katsuse	1
今津干潟	Imazu Higata	90	風蓮湖南部	Furen Lake South	0
香良洲海岸	Karasu-kaigan	87	高瀬川河口	Takase-gawa Kako	0
翁長干潟	Okina Higata	66	鶴川河口	Mukawa Kako	0
高知空港周辺	Kochi Airport Surrounding area	64	広浦	Hiro-ura	0
和歌浦干潟	Wakaura-Tidelflat	63	印旛沼中央排水路	Inba-numa chuouhaisuiro	0
大阪南港野鳥園	Nanko Yachoen	56	いなげの浜	Inage no hama	0
巨椋池干拓田	Ogura-ike Kantakuden	56	城南干拓	Jonan Kantaku	0
牛橋河口	Ushibashi-kakou	55			

5. 経年変化

全サイト及びシギ・チドリ類個体群変動モニタリング調査（1999～2003年）から継続して調査されたサイト（以下、継続サイト）のみの調査期間中の最大個体数の各期の動態を図9、図10に示した。全サイトでは、2023年度時点で、春期は約6万羽、秋期は約3万羽、冬期は約4万羽程度が記録された。全サイトと継続サイトのみでは、ほぼ類似した動態を示していた。2005年度春期、2009年度春期、2013年度春期の最大個体数は、突出した数値を示しているが、これはアカエリヒレアシシギの約1万羽以上の群れが含まるためである。アカエリヒレアシシギを含むヒレアシシギ類は海上を主要な生息地とし、年度毎の個体数の変動が大きいため、干潟や湿原などの湿地環境の指標としては適していない。そのため、ヒレアシシギ類を除いた最大個体数の動態を図11、12に示す。

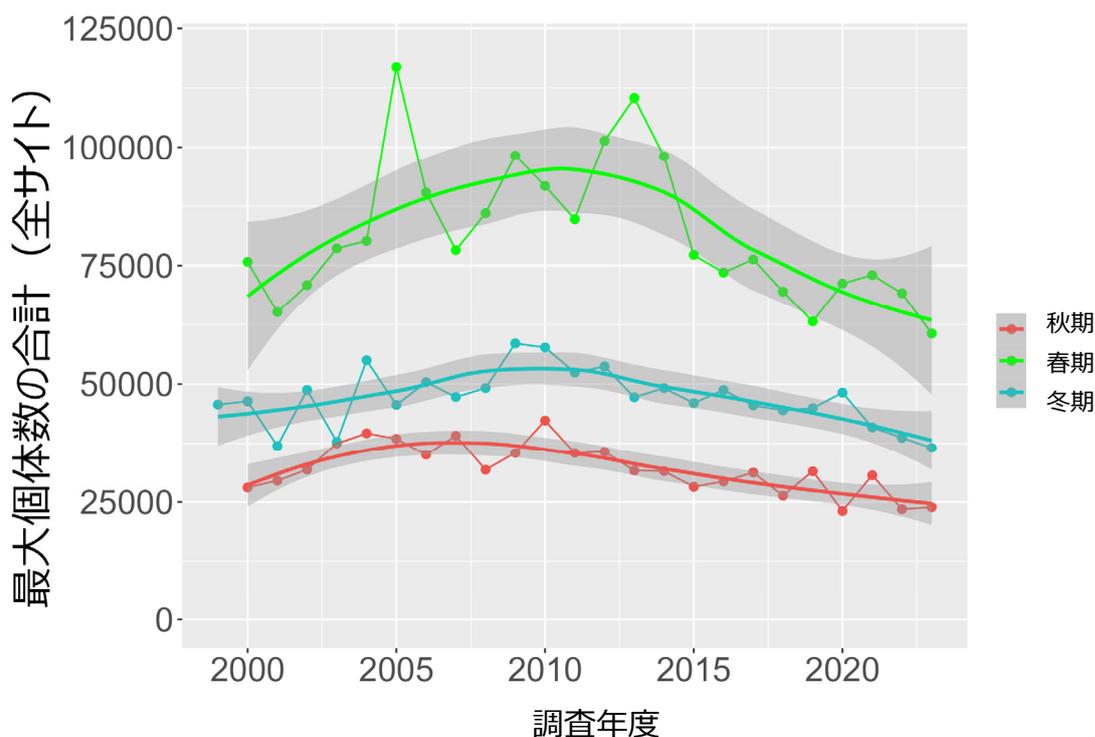


図9 全サイトにおけるシギ・チドリ類の最大個体数の動態

1999-2003年のデータはWWFジャパン(2007)、2004-2022年のデータは環境省生物多様性センター データファイル「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」(Download 2024. March)から引用。

Fig. 9 Dynamics of the maximum number of species for all sites.

The data of 1999 to 2003 is based from WWF Japan (2007), 2004 to 2022 is from the Data File "Monitoring Site 1000 Shorebirds Survey", Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (Download 2024. March).

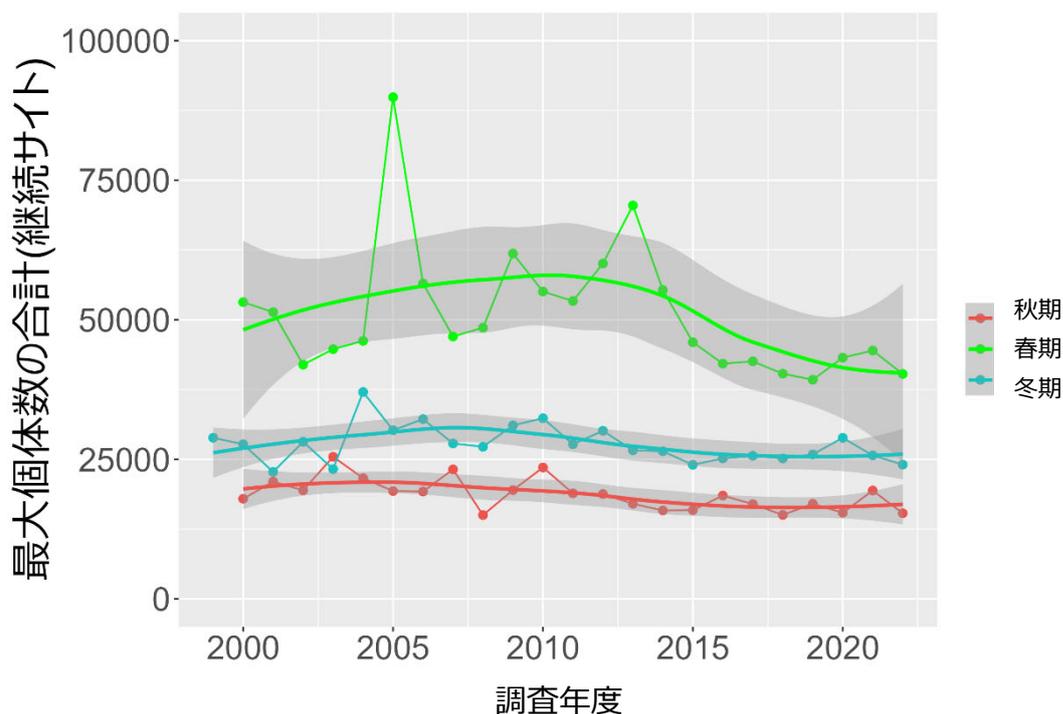


図 10 継続サイトにおけるシギ・チドリ類の最大個体数の動態

1999-2003 年のデータは WWF ジャパン(2007)、2004-2022 年のデータはデータファイル「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」(Download 2024, March)から引用。

Fig. 10 Dynamics of the maximum number of shorebirds in the sites with continuous survey during 1999-2023.

The data of 1999 to 2003 is based from WWF Japan (2007), 2004 to 2022 is from the Data File "Monitoring Site 1000 Shorebirds Survey", Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (Download 2024, March).

ヒレアシシギ類を除いた全サイトにおける調査期間中の最大個体数の動態（図 11）は、春期は約 6～10 万羽、秋期は 2～4 万羽、冬期は 4～6 万羽で推移し、2010 年頃からは各シーズンで減少傾向を示していた。2022 年から 2023 年は春期・冬期は増加していたが、秋期は減少していた。継続サイトのみを見ると（図 12）は、変化の幅は狭いが 2010 年頃から減少傾向であること、また 2022 年度と比較して春期・冬期に増加し、秋期に減少していることなど、全サイトと動態は類似していた。

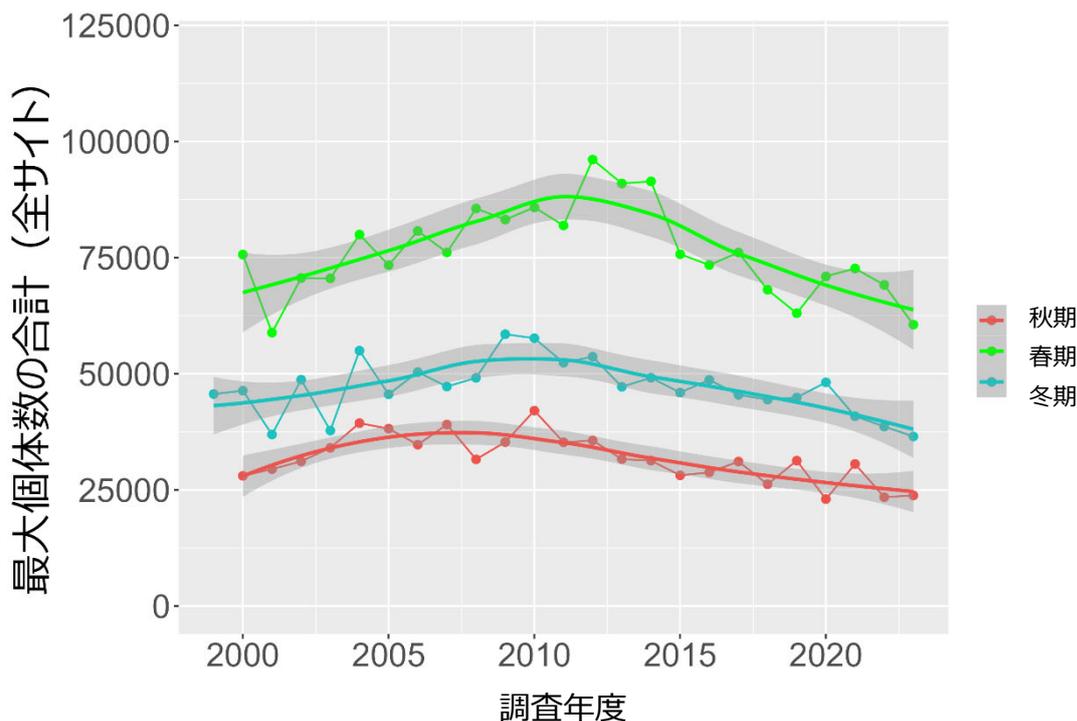


図 11 全サイトにおけるヒレアシシギ類を除いたシギ・チドリ類の最大個体数の動態

1999-2003 年のデータは WWF ジャパン（2007）、2004-2022 年のデータはデータファイル「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」（Download 2024. March）から引用。

Fig. 11 Dynamics of the maximum number of species for all sites except phalarope.

The data of 1999 to 2003 is based from WWF Japan (2007), 2004 to 2022 is from the Data File "Monitoring Site 1000 Shorebirds Survey", Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (Download 2024. March).

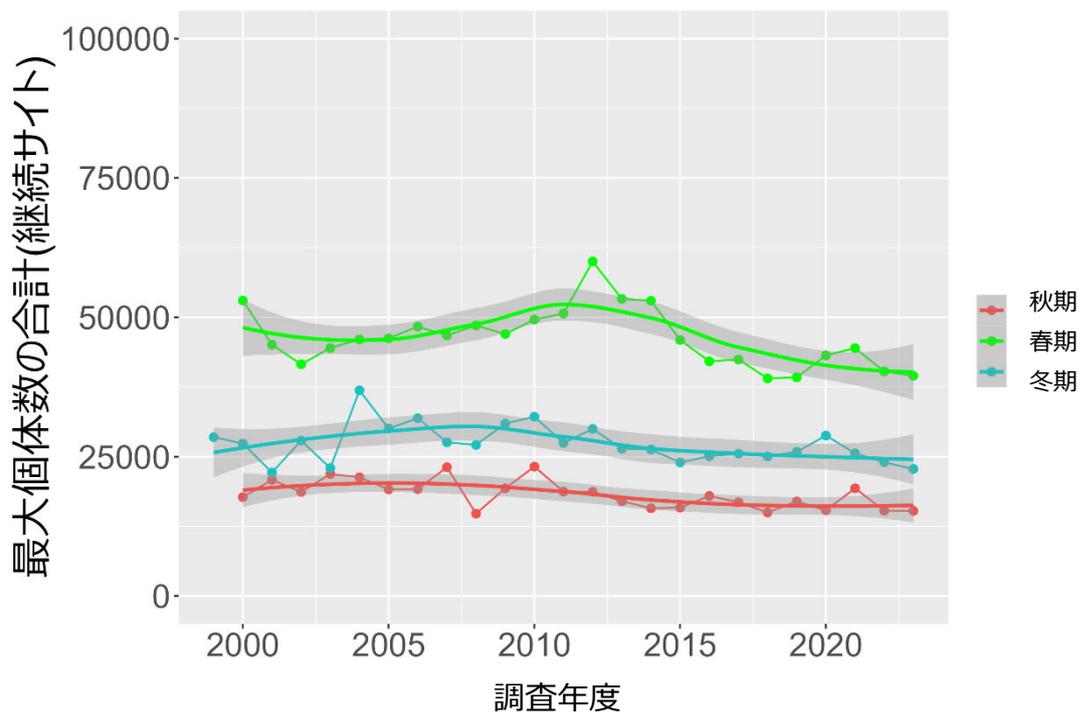


図 12 継続サイトにおけるヒレアシシギ類を除いたシギ・チドリ類の最大個体数の動態

1999-2003 年のデータは、WWF ジャパン(2007)、2004-2022 年のデータはデータファイル「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」(Download 2024. March)から引用。

Fig. 12 Dynamics of the maximum number of species for the continuous sites except phalarope.

The data of 1999 to 2003 is based from WWF Japan (2007), 2004 to 2022 is from the Data File "Monitoring Site 1000 Shorebirds Survey", Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (Download 2024. March).

6. 分布図

国内の調査サイトを以下の 20 区域（図 13）に分けた。シギ・チドリ類について、図 14-a (1) ～ (6) に 2023 年度の一斉調査または期別の調査期間中の最大個体数に基づき、図 13 に示す 20 区分の地域別の総個体数（一斉調査または最大個体数の合計値）を春期、秋期、冬期の順に分布図に示した。さらに、図 14-b (1) ～ (6) に前年度と同調査期との増減を春期、秋期、冬期の順に分布図に示した。一斉調査のデータは、一斉調査期間（基準日の前後 1 週間を含む 15 日間）の個体数データを使用している。2022-2023 年に調査を実施したサイトやその総個体数の情報（図 14 関連の元データ）は、V 章観察記録の「3. 2022 年度と 2023 年度調査を実施したサイトの一覧」に掲載している表 13～15 による。

また、ツクシガモ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメについては、種間の情報重複をなるべく避けるため、2023 年度冬期の一斉調査期間におけるサイト別の個体数を 2022 年度と比較し、その増減を表した図を種ごとに図 15-1～4 に示した。

地域区分

1 北海道東北部	11 伊勢湾
2 北海道東部	12 大阪湾周辺と紀伊水道
3 北海道西部	13 山陰
4 東北太平洋岸	14 瀬戸内海西部と周防灘
5 東北日本海岸	15 四国太平洋岸
6 関東太平洋岸	16 博多湾周辺
7 関東内陸湿地	17 有明海と不知火海
8 東京湾と相模灘	18 九州南部
9 能登半島周辺	19 沖縄本島
10 駿河湾	20 宮古・八重山

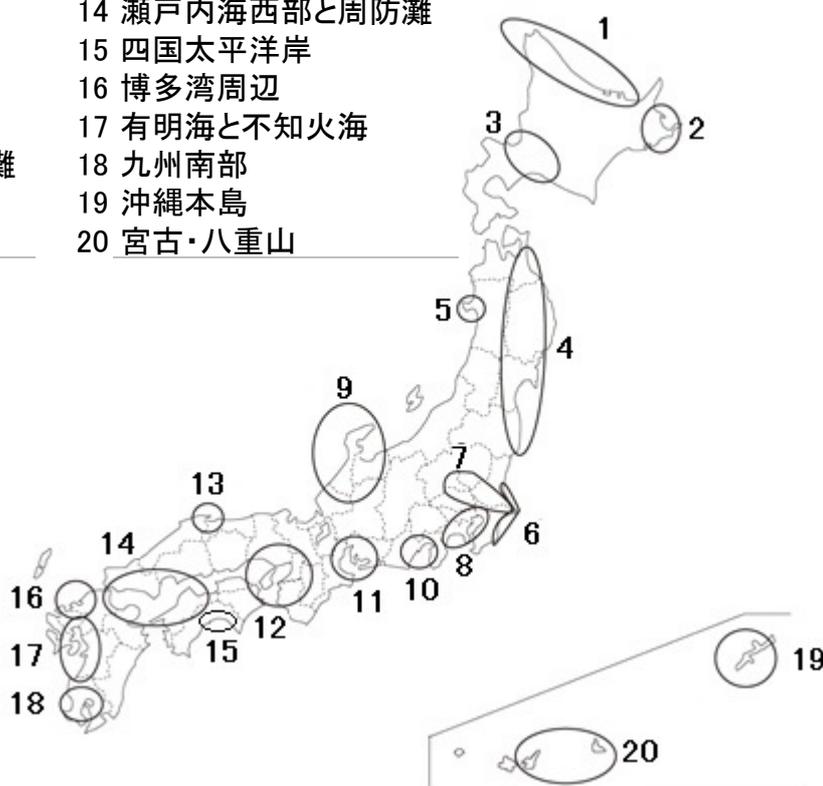


図 13 調査サイトの地域区分図

Fig. 13 A sectional map of survey sites.

地域別の総個体数は、一斉調査に基づく個体数及び最大個体数のいずれにおいても「有明海と不知火海」がすべての調査時期(春期、秋期、冬期)で最も多かった。また、太平洋側内湾である「東京湾と相模灘」、「伊勢湾」、「瀬戸内海西部と周防灘」の太平洋岸の3地域も各調査時期で比較的個体数が多く、くわえて北海道地域は春期、秋期の移動時期に個体数が多かった(図 14-a (1)～(6))。

春期の総個体数は、「伊勢湾」、「四国太平洋岸」、「博多湾周辺」、「有明海と不知火海」、「沖縄本島」は一斉調査、最大個体数調査ともに昨年度より減少しており(図 14-b(1)、図 14-b(2))、西日本での減少が見られた。さらに最大個体数調査の比較では「北海道東北部」、「北海道西部」、「東北太平洋岸」も減少しており、北日本、西日本ともに期間を通じた減少が見られた。一方で、関東地域を中心に昨年度と比較して増加が見られた。

秋期の総個体数は、一斉調査では「北海道東北部」、「北海道東部」、「北海道西部」、「東北太平洋岸」において、昨年度より増加し、東北以南については、減少した地域が目立った。(図 14-b(3))。最大個体数調査では、「北海道西部」、「東北太平洋岸」を除く地域が昨年度より減少していた(図 14-b(4))。秋の一斉調査は、昨年度と同様に9月中旬に実施されたが、北海道地域で増加が見られたことは、やや遅い渡りを示している可能性がある。しかしながら、最大個体数調査は全国的に期間を通して減少しており、秋期のシギ・チドリ類の渡来は、低調だったと考えられる。

冬期の総個体数は、一斉調査では「東北太平洋岸」、「能登半島周辺」、「大阪湾周辺と紀伊水道」、「博多湾周辺」、「有明海と不知火」、「宮古・八重山」地域で、増加していた(図 14-b(5))。最大個体数調査では「東北太平洋岸」、「能登半島周辺」、「四国太平洋岸」、「博多湾周辺」、「宮古・八重山」地域で昨年度より増加していた(図 14-b(6))。冬期は本州で減少した地域が多く、「沖縄本島」、「宮古・八重山」において増加した。越冬個体群が東北、北陸地域などの中部日本以北で増加が見られており、越冬分布の変化も考えられる。

冬期一斉調査におけるツクシガモ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメの総個体数は、主に九州を中心とした西日本で観察例が多かった(図 15-1～15-4)。

地域別総個体数(一斉調査)	
Number of the same period census	
2023年度春期	
2023 Spring	
北海道東北部	16
北海道東部	166
北海道西部	8
東北太平洋岸	655
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	814
関東内陸湿地	219
東京湾と相模灘	2,960
能登半島周辺	1,004
駿河湾	51
伊勢湾	2,359
大阪湾周辺と紀伊水道	628
山陰	21
瀬戸内海西部と周防灘	4,299
四国太平洋岸	21
博多湾周辺	144
有明海と不知火海	5,239
九州南部	4
沖縄本島	551
宮古・八重山	195
合計	19,354

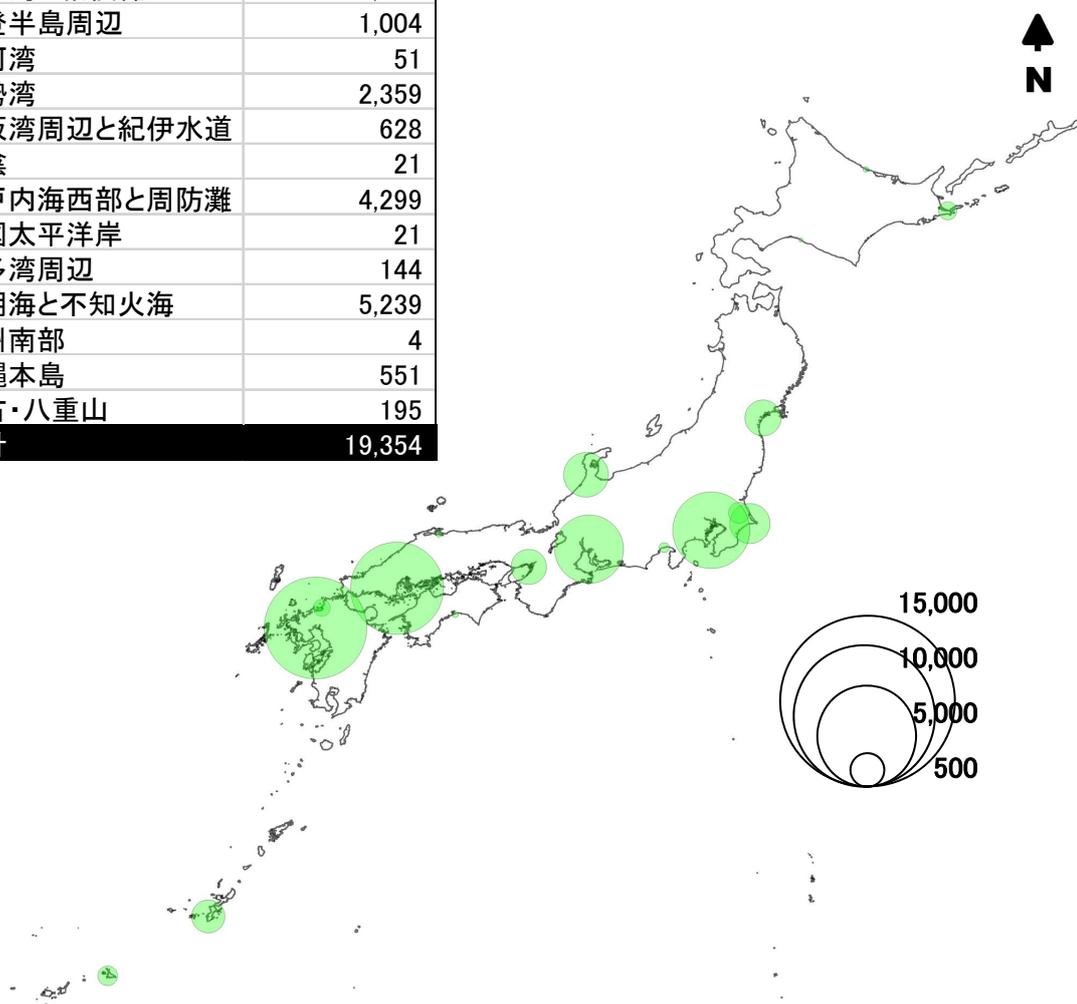


図 14-a(1) 2023 年度春期の一斉調査(4 月)に基づくシギ・チドリ類個体数の分布
 Fig. 14-a(1) The distribution pattern of shorebirds based by the same period census
 (April) of individuals in 2023 spring.

地域別総個体数(最大個体数)	
Number of Max Count	
2023	2023年度春期 2023 Spring
北海道東北部	1,998
北海道東部	2,743
北海道西部	47
東北太平洋岸	1,895
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1,316
関東内陸湿地	1,150
東京湾と相模灘	5,466
能登半島周辺	1,909
駿河湾	94
伊勢湾	4,553
大阪湾周辺と紀伊水道	1,974
山陰	58
瀬戸内海西部と周防灘	9,158
四国太平洋岸	141
博多湾周辺	535
有明海と不知火海	26,030
九州南部	4
沖縄本島	1,411
宮古・八重山	196
合計	60,678

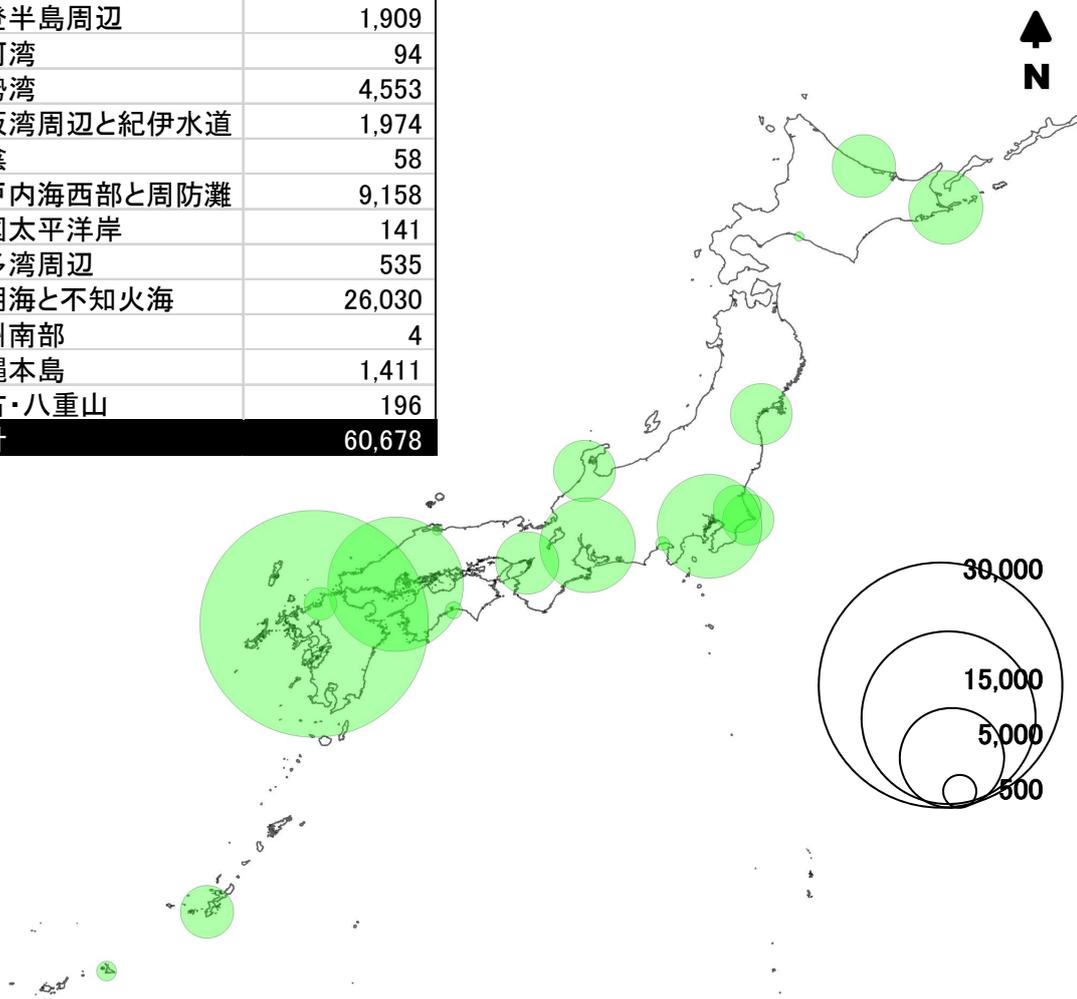


図 14-a(2) 2023 年度春期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の分布

Fig. 14-a(2) The distribution pattern of shorebirds based by maximum counts of individuals in 2023 spring.

地域別総個体数(一斉調査)	
Number of the same period census	
2023年度秋期	
2023 Autumn	
北海道東北部	122
北海道東部	1,091
北海道西部	9
東北太平洋岸	230
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	183
関東内陸湿地	247
東京湾と相模灘	464
能登半島周辺	533
駿河湾	47
伊勢湾	599
大阪湾周辺と紀伊水道	223
山陰	10
瀬戸内海西部と周防灘	852
四国太平洋岸	50
博多湾周辺	68
有明海と不知火海	913
九州南部	8
沖縄本島	428
宮古・八重山	110
合計	6,187

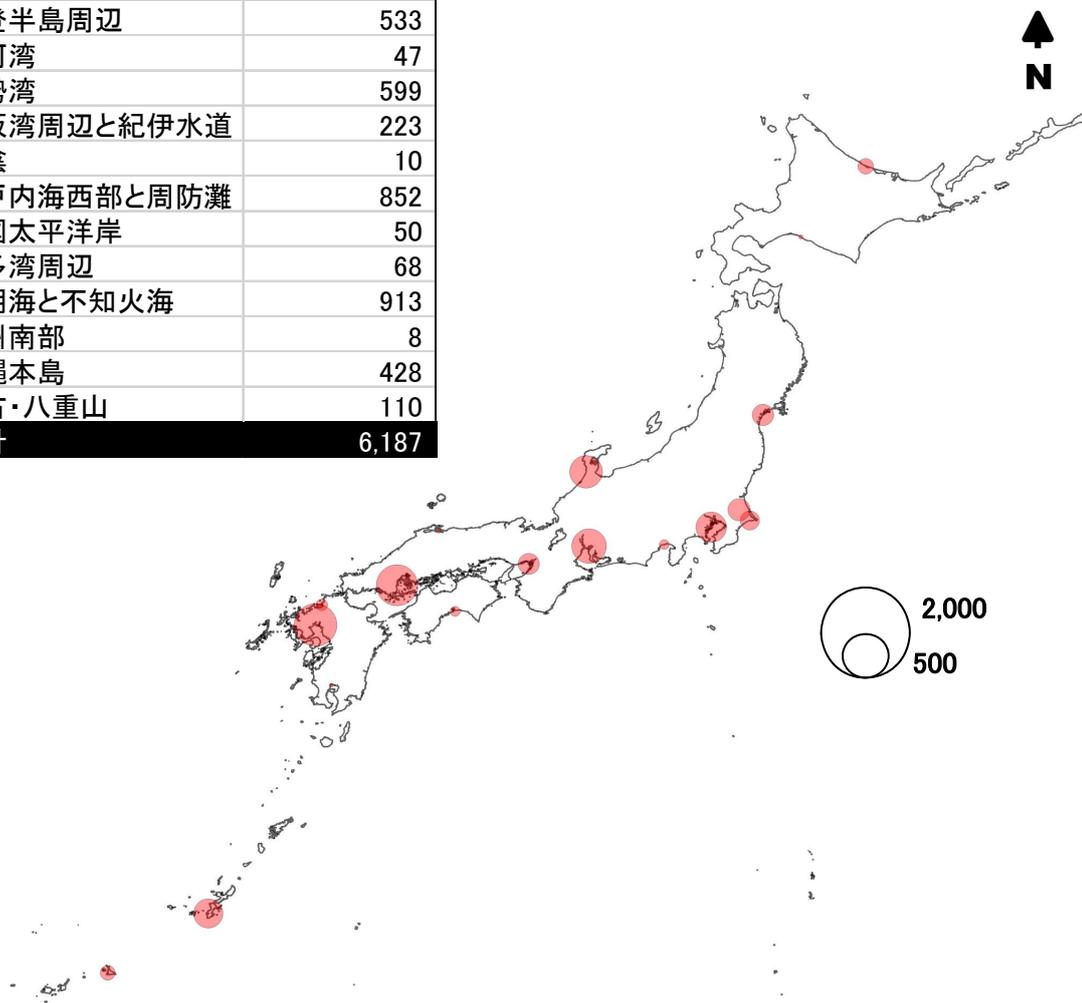


図 14-a(3) 2023 年度秋期の一斉調査(9 月)に基づくシギ・チドリ類個体数の分布

Fig. 14-a(3) The distribution pattern of shorebirds based by the same period census (September) of individuals in 2023 autumn.

地域別総個体数(最大個体数)	
Number of Max Count	
2023年度秋期	
2023 Autumn	
北海道東北部	1,097
北海道東部	2,766
北海道西部	76
東北太平洋岸	472
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1,011
関東内陸湿地	663
東京湾と相模灘	1,450
能登半島周辺	1,305
駿河湾	47
伊勢湾	1,085
大阪湾周辺と紀伊水道	526
山陰	40
瀬戸内海西部と周防灘	2,467
四国太平洋岸	114
博多湾周辺	329
有明海と不知火海	8,975
九州南部	8
沖縄本島	1,530
宮古・八重山	138
合計	24,099

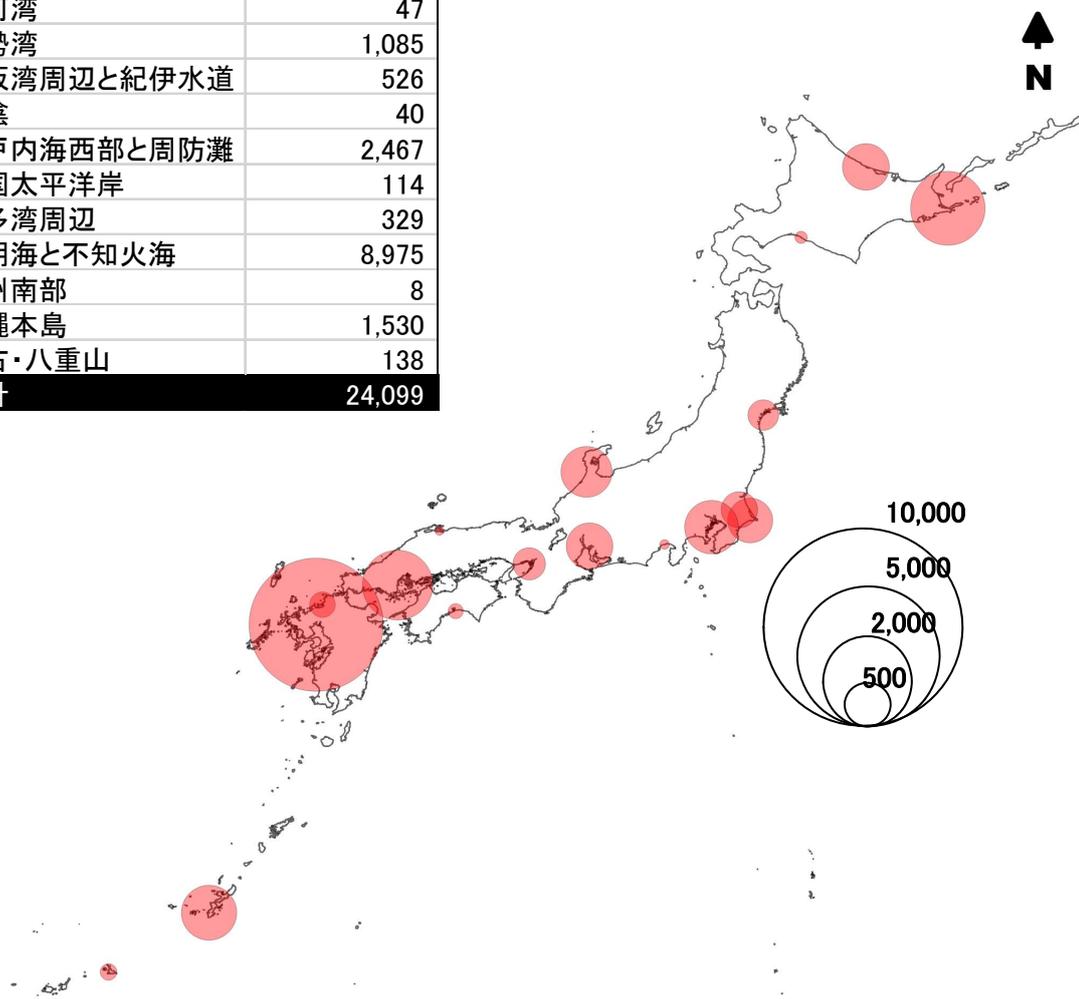


図 14-a(4). 2023 年度秋期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の分布

Fig. 14-a(4). The distribution pattern of shorebirds based by maximum counts of individuals in 2023 autumn.

地域別総個体数(一斉調査)	
Number of the same period census	
2023年度冬期	
2023 Winter	
北海道東北部	0
北海道東部	2
北海道西部	0
東北太平洋岸	87
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	241
関東内陸湿地	331
東京湾と相模灘	2,155
能登半島周辺	1
駿河湾	127
伊勢湾	2,293
大阪湾周辺と紀伊水道	902
山陰	156
瀬戸内海西部と周防灘	2,965
四国太平洋岸	39
博多湾周辺	170
有明海と不知火海	11,094
九州南部	8
沖縄本島	836
宮古・八重山	172
合計	21,579

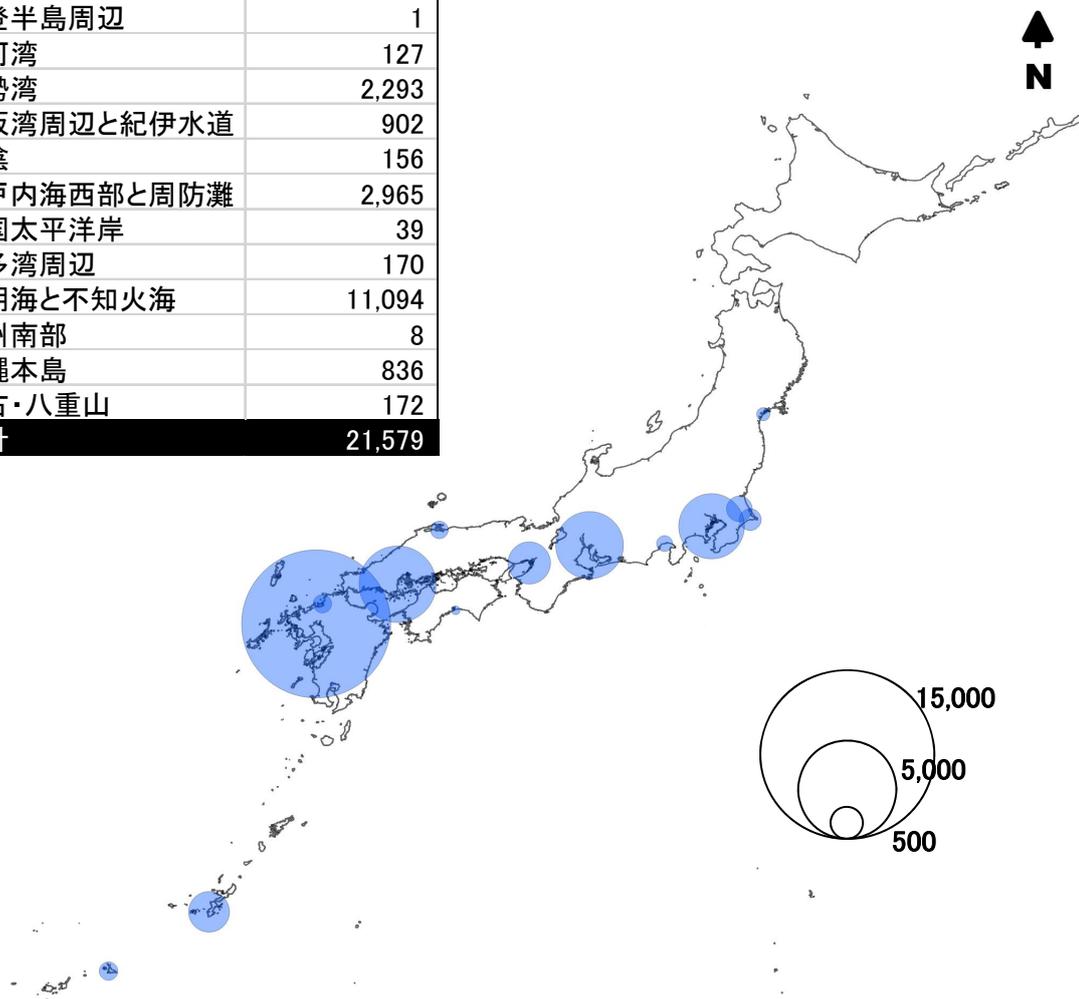


図 14-a(5). 2023 年度冬期の一斉調査(1 月)に基づくシギ・チドリ類個体数の分布

Fig. 14-a(5). The distribution pattern of shorebirds based by the same period census (January) of individuals in 2023-24 winter.

地域別総個体数(最大個体数)	
Number of Max Count	
2023年度冬期	
2023 Winter	
北海道東北部	2
北海道東部	20
北海道西部	0
東北太平洋岸	135
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	839
関東内陸湿地	434
東京湾と相模灘	3,872
能登半島周辺	57
駿河湾	168
伊勢湾	3,404
大阪湾周辺と紀伊水道	1,229
山陰	306
瀬戸内海西部と周防灘	5,288
四国太平洋岸	82
博多湾周辺	885
有明海と不知火海	16,401
九州南部	382
沖縄本島	2,627
宮古・八重山	416
合計	36,547

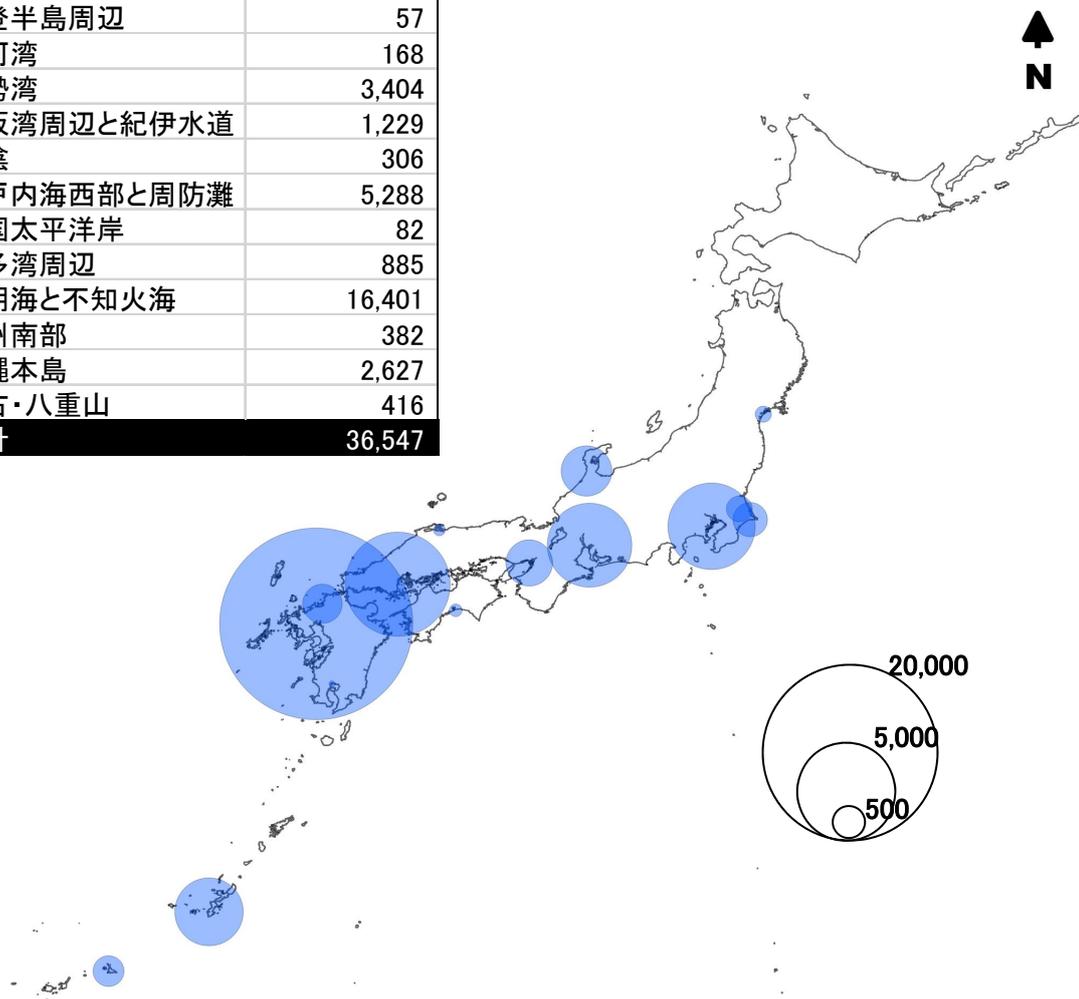


図 14-a(6) 2023 年度冬期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の分布

Fig. 14-a(6) The distribution pattern of shorebirds based by Maximum Counts of individuals in 2023-24 winter.

地域別総個体数(一斉調査)指標	
Number of the same period census index	
2023年度春期	
2023 Spring	
北海道東北部	0.84
北海道東部	0.54
北海道西部	0.89
東北太平洋岸	1.29
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	0.57
関東内陸湿地	0.42
東京湾と相模灘	0.88
能登半島周辺	1.32
駿河湾	2.12
伊勢湾	0.75
大阪湾周辺と紀伊水道	0.74
山陰	-
瀬戸内海西部と周防灘	0.61
四国太平洋岸	0.28
博多湾周辺	0.64
有明海と不知火海	0.31
九州南部	-
沖縄本島	1.51
宮古・八重山	-

2022年度を"1"とした数値

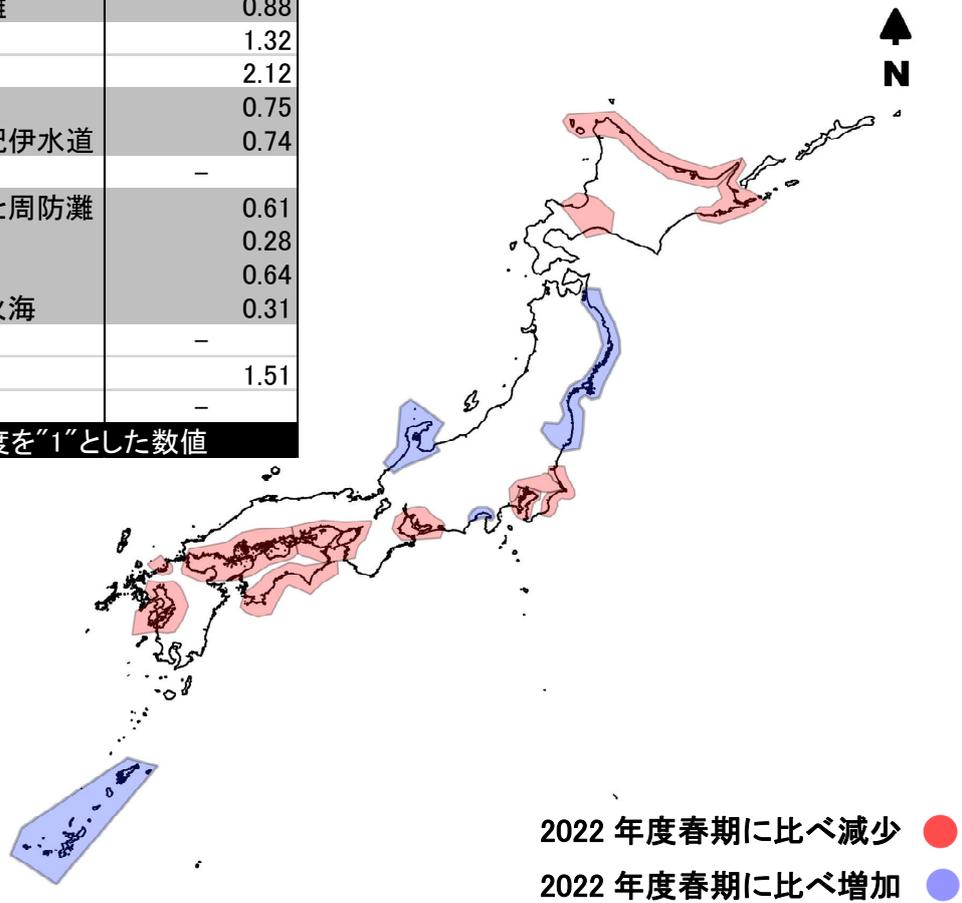


図 14-b(1) 2022 年度春期と 2023 年度春期の一斉調査(4 月)に基づくシギ・チドリ類個体数の比較

2022 年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用(N=92)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(1) The distribution index pattern of shorebirds based by the same period census (April) in 2022 spring and 2023 spring.

The increase or decrease was shown using the 2022 spring population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =92).

地域別総個体数(最大個体数)指標 Number of Max Count index	
2023年度春期 2023 Spring	
北海道東北部	3.93
北海道東部	0.83
北海道西部	0.57
東北太平洋岸	1.36
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	0.87
関東内陸湿地	0.59
東京湾と相模灘	0.92
能登半島周辺	0.92
駿河湾	3.92
伊勢湾	0.76
大阪湾周辺と紀伊水道	0.80
山陰	0.58
瀬戸内海西部と周防灘	0.84
四国太平洋岸	0.52
博多湾周辺	1.18
有明海と不知火海	0.94
九州南部	1.00
沖縄本島	0.88
宮古・八重山	-
2022年度を"1"とした数値	

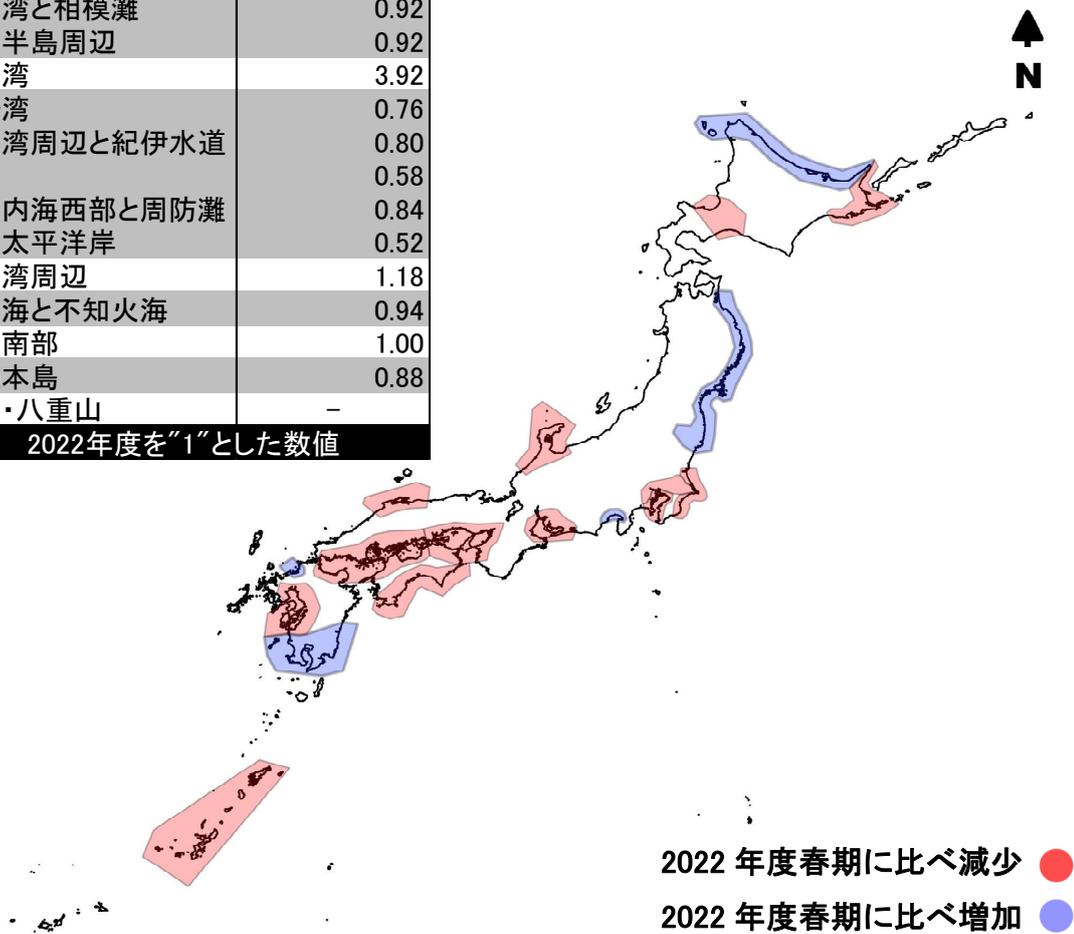


図 14-b(2) 2022 年度春期と 2023 年度春期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の比較

2022 年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用(N=111)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(2) The distribution index pattern of shorebirds based by maximum counts in 2022 spring and 2023 spring.

The increase or decrease was shown using the 2022 spring population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =111).

地域別総個体数(一斉調査)指標 Number of the same period census index 2023年度秋期 2023 Autumn	
北海道東北部	1.53
北海道東部	0.64
北海道西部	0.75
東北太平洋岸	1.68
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1.89
関東内陸湿地	2.33
東京湾と相模灘	1.23
能登半島周辺	0.02
駿河湾	1.96
伊勢湾	0.93
大阪湾周辺と紀伊水道	0.70
山陰	-
瀬戸内海西部と周防灘	1.07
四国太平洋岸	1.85
博多湾周辺	0.49
有明海と不知火海	0.17
九州南部	-
沖縄本島	1.28
宮古・八重山	2.50

2022年度を“1”とした数値

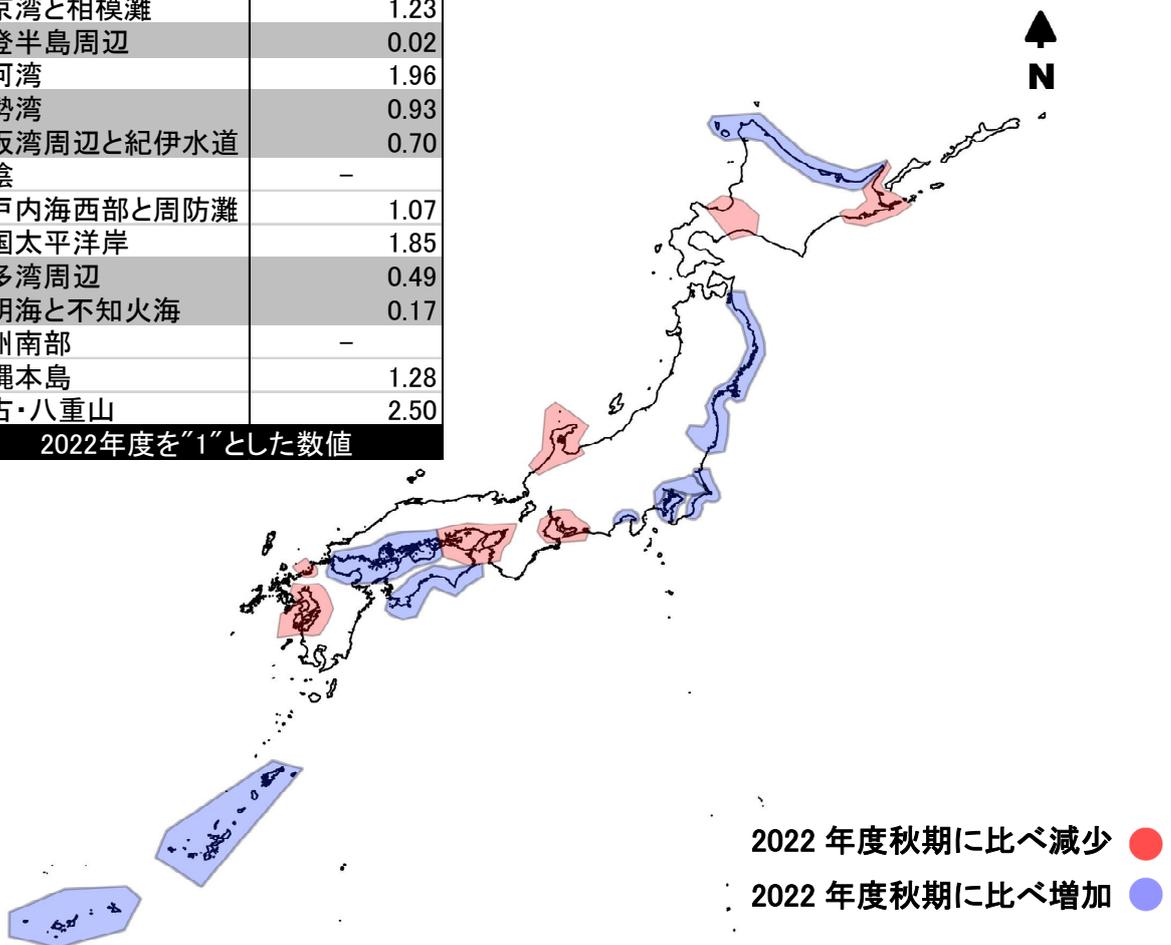


図 14-b(3) 2022年度秋期と2023年度秋期の一斉調査(9月)に基づくシギ・チドリ類個体数の比較

2022年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用(N=76)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(3) The distribution index pattern of shorebirds based by the same period census (September) in 2022 autumn and 2023 autumn.

The increase or decrease was shown using the 2022 autumn population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =76).

地域別総個体数(最大個体数)指標 Number of Max Count index	
2023年度秋期 2023 Autumn	
北海道東北部	1.66
北海道東部	1.55
北海道西部	0.57
東北太平洋岸	0.49
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1.00
関東内陸湿地	1.01
東京湾と相模灘	1.17
能登半島周辺	1.51
駿河湾	1.96
伊勢湾	0.74
大阪湾周辺と紀伊水道	0.88
山陰	-
瀬戸内海西部と周防灘	0.93
四国太平洋岸	0.84
博多湾周辺	0.79
有明海と不知火海	0.93
九州南部	1.60
沖縄本島	1.13
宮古・八重山	1.01

2022年度を"1"とした数値

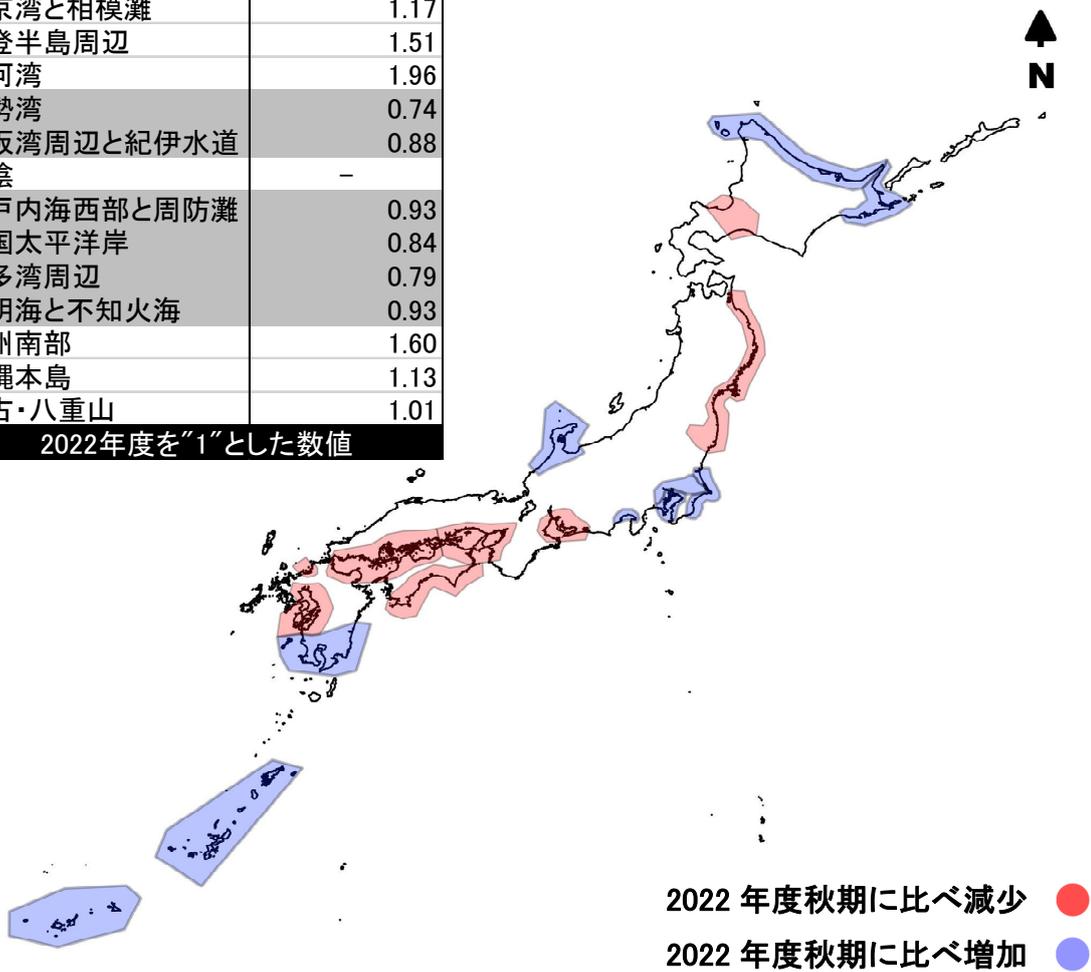


図 14-b(4) 2022 年度秋期と 2023 年度秋期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の比較

2022 年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用(N=102)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(4) The distribution index pattern of shorebirds based by maximum counts in 2022 autumn and 2023 autumn.

The increase or decrease was shown using the 2022 autumn population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =102).

地域別総個体数(一斉調査)指標 Number of the same period census index 2023年度冬期 2023 Winter	
北海道東北部	-
北海道東部	-
北海道西部	-
東北太平洋岸	0.86
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1.26
関東内陸湿地	0.75
東京湾と相模灘	0.87
能登半島周辺	-
駿河湾	-
伊勢湾	2.03
大阪湾周辺と紀伊水道	0.91
山陰	-
瀬戸内海西部と周防灘	0.63
四国太平洋岸	1.11
博多湾周辺	0.32
有明海と不知火海	0.98
九州南部	-
沖縄本島	0.77
宮古・八重山	0.50

2022年度を"1"とした数値

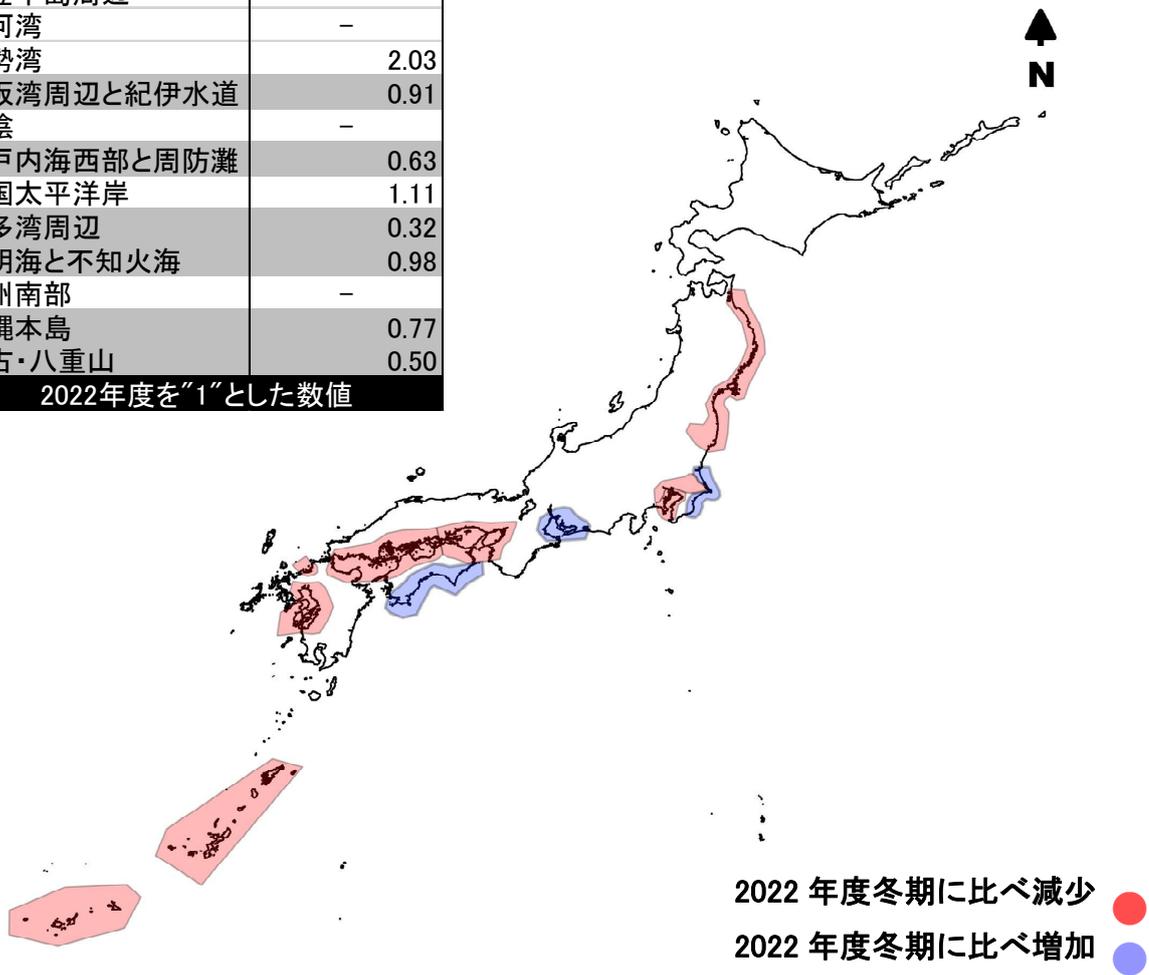


図 14-b(5) 2022 年度冬期と 2023 年度冬期の一斉調査(1 月)に基づくシギ・チドリ類個体数の比較

2022 年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用 (N=70)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(5) The distribution index pattern of shorebirds based by the same period census (January) in 2022-23 winter and 2023-24 winter.

The increase or decrease was shown using the 2022-23 winter population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =70).

地域別総個体数(最大個体数)指標 Number of Max Count index 2023年度冬期 2023 Winter	
北海道東北部	-
北海道東部	20.00
北海道西部	-
東北太平洋岸	0.85
東北日本海岸	-
関東太平洋岸	1.41
関東内陸湿地	1.34
東京湾と相模灘	1.14
能登半島周辺	3.67
駿河湾	-
伊勢湾	0.79
大阪湾周辺と紀伊水道	1.15
山陰	-
瀬戸内海西部と周防灘	0.90
四国太平洋岸	1.01
博多湾周辺	0.94
有明海と不知火海	0.91
九州南部	-
沖縄本島	1.12
宮古・八重山	0.87

2022年度を"1"とした数値

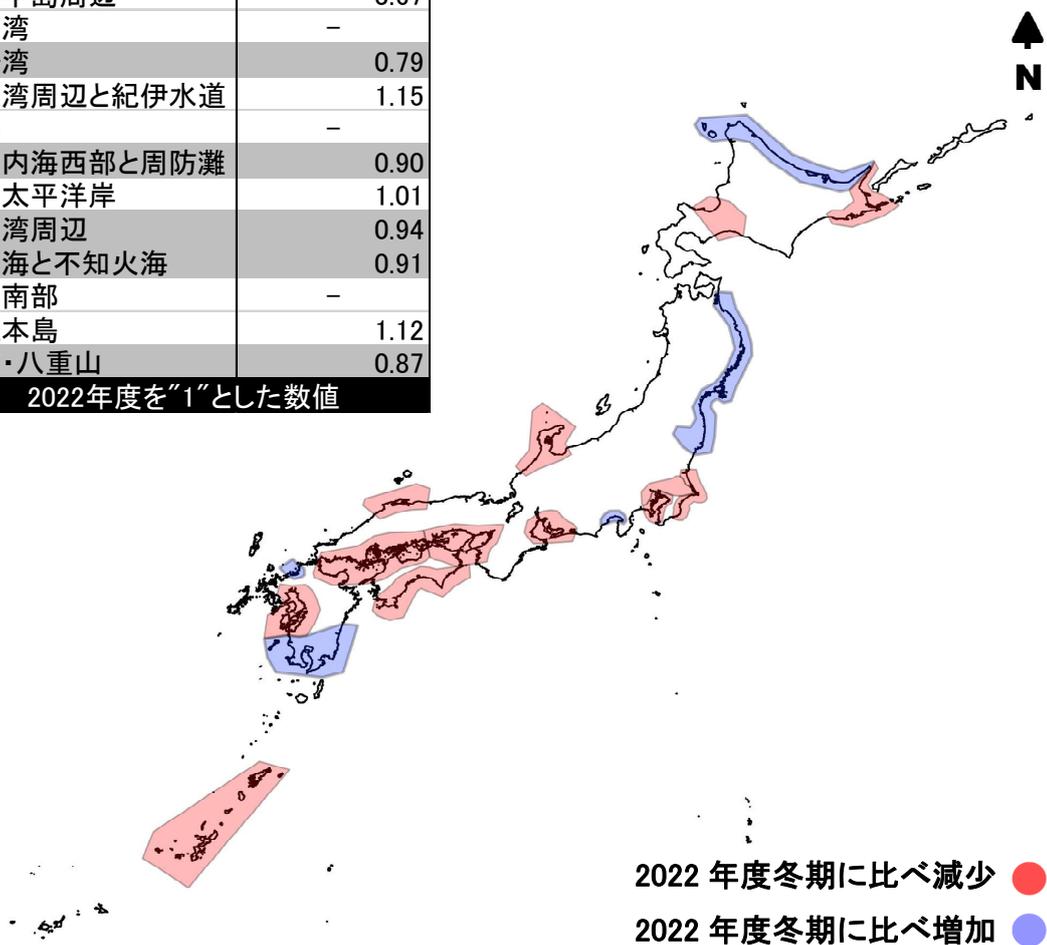


図 14-b(6) 2022 年度冬期と 2023 年度冬期の最大個体数に基づくシギ・チドリ類個体数の比較 2022 年度の個体数を基準値として、増減を示した。両年度調査されたサイトの個体数を使用(N=93)。表中の着色部分は減少した地域。

Fig. 14-b(6) The distribution index pattern of shorebirds based by maximum counts in 2022-23 winter and 2023-24 winter.

The increase or decrease was shown using the 2022-23 winter population as the baseline. Using the data of sites that are both years research (N =93).

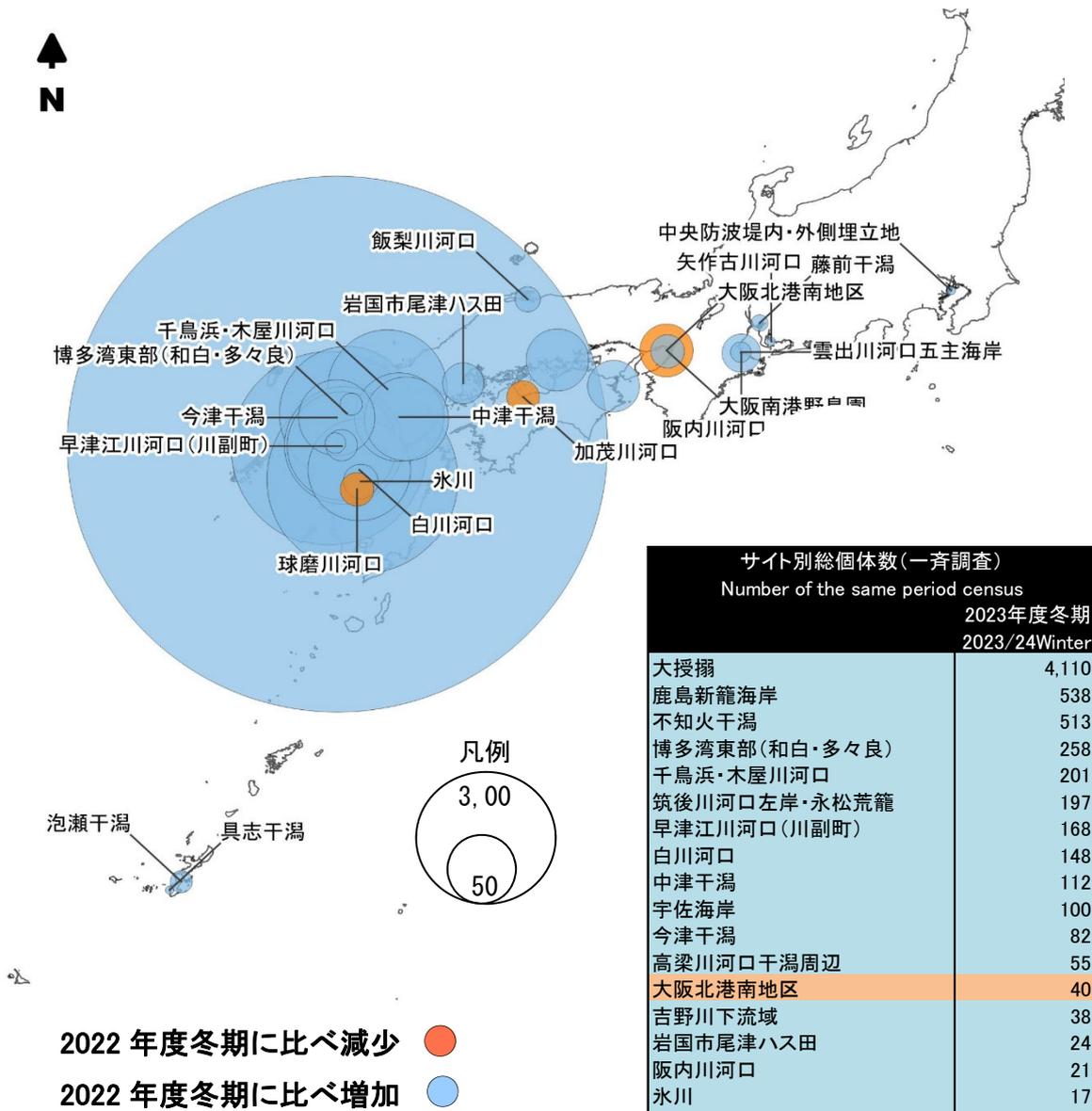


図 15-1 2023 年度冬期の一斉調査(1月)に基づくツクシガモの分布

橙色は 2022 年度の個体数より減少した地域。青色は 2022 年度の個体数より増加した地域。

Fig. 15-1 The distribution pattern of Common Shelduck based by the same period census (Jan.) of individuals in 2023-2024 winter.

Orange is the area which decreased in number from the population in 2022-2023 winter. Blue is the area which increased in number from the population in 2022-2023 winter.

サイト別総個体数(一斉調査)	
Number of the same period census	
2023年度冬期	
2023/24Winter	
大授搦	4,110
鹿島新籠海岸	538
不知火干潟	513
博多湾東部(和白・多々良)	258
千鳥浜・木屋川河口	201
筑後川河口左岸・永松荒籠	197
早津江川河口(川副町)	168
白川河口	148
中津干潟	112
宇佐海岸	100
今津干潟	82
高梁川河口干潟周辺	55
大阪北港南地区	40
吉野川下流域	38
岩国市尾津ハス田	24
阪内川河口	21
氷川	17
大阪南港野鳥園	16
球磨川河口	16
加茂川河口	15
大野島	14
飯梨川河口	9
泡瀬干潟	7
津屋崎	7
雲出川河口五主海岸	6
六角川河口(芦刈町)	6
藤前干潟	4
中央防波堤内・外側埋立地	1
具志干潟	1
矢作古川河口	1
合計	6,725

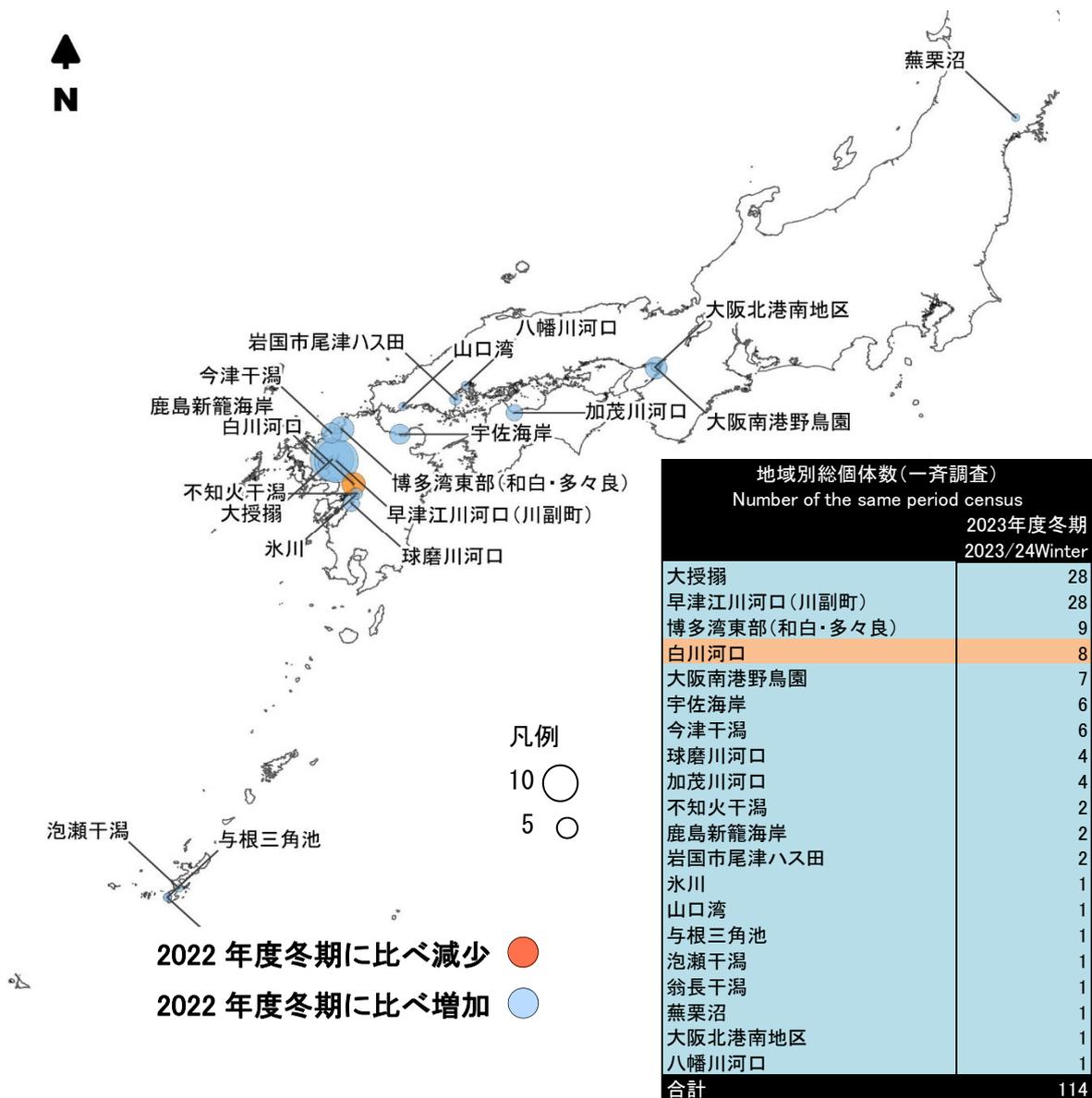


図 15-2 2023 年度冬期の一斉調査 (1 月)に基づくヘラサギの分布

橙色は 2022 年度の個体数より減少した地域。青色は 2022 年度の個体数より増加した地域。

Fig. 15-2 The distribution pattern of Eurasian Spoonbill based by the same period census (Jan.) of individuals in 2023-2024 winter.

Orange is the area which decreased in number from the population in 2022-2023 winter. Blue is the area which increased in number from the population in 2022-2023 winter.

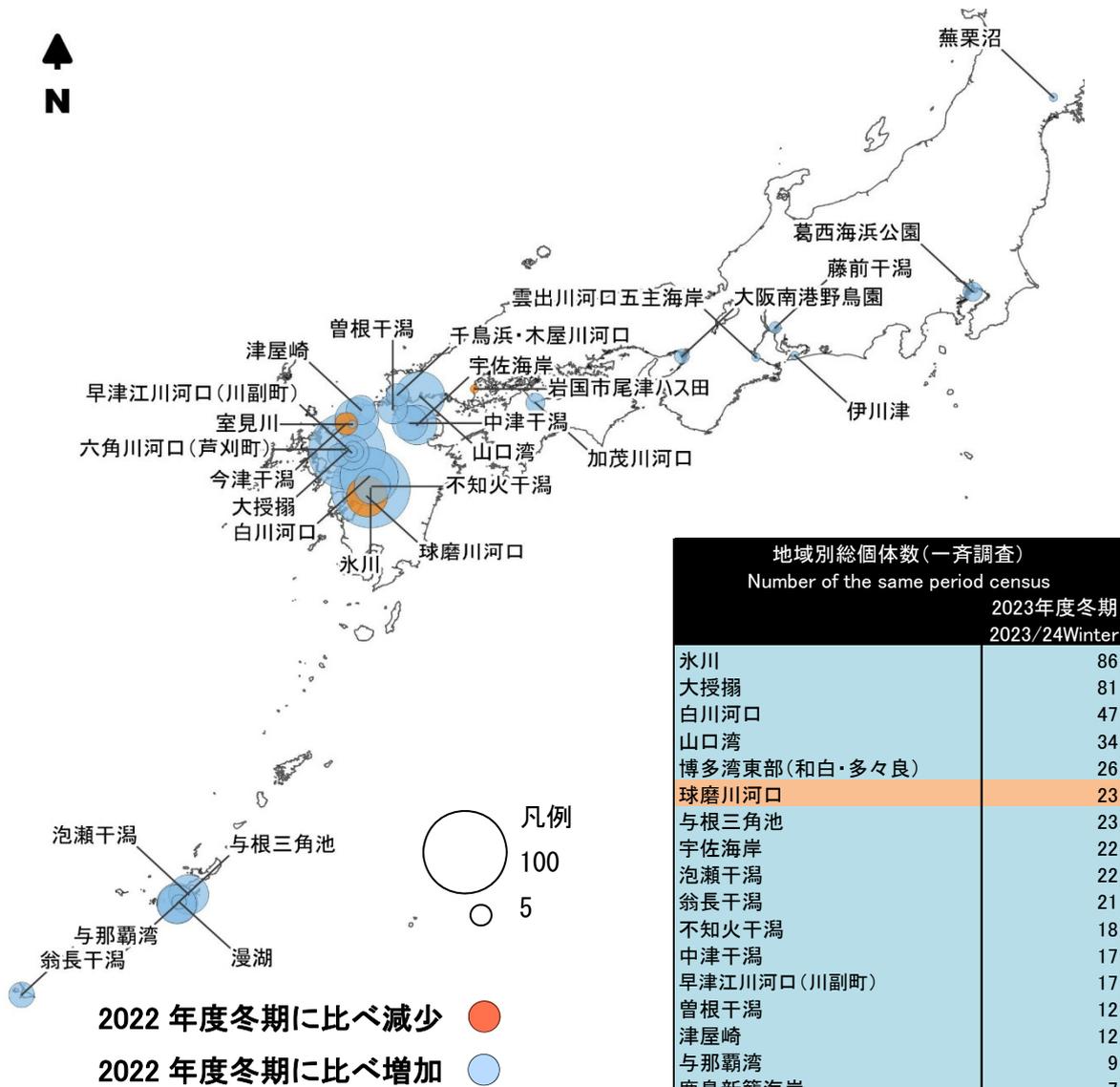


図 15-3 2023 年度冬期の一斉調査 (1月)に基づくクロツラヘラサギの分布

橙色は 2022 年度の個体数より減少した地域。青色は 2022 年度の個体数より増加した地域。

Fig. 15-3 The distribution pattern of Black-faced Spoonbill based by the same period census (Jan.) of individuals in 2023-2024 winter.

Orange is the area which decreased in number from the population in 2022-2023 winter. Blue is the area which increased in number from the population in 2022-2023 winter.

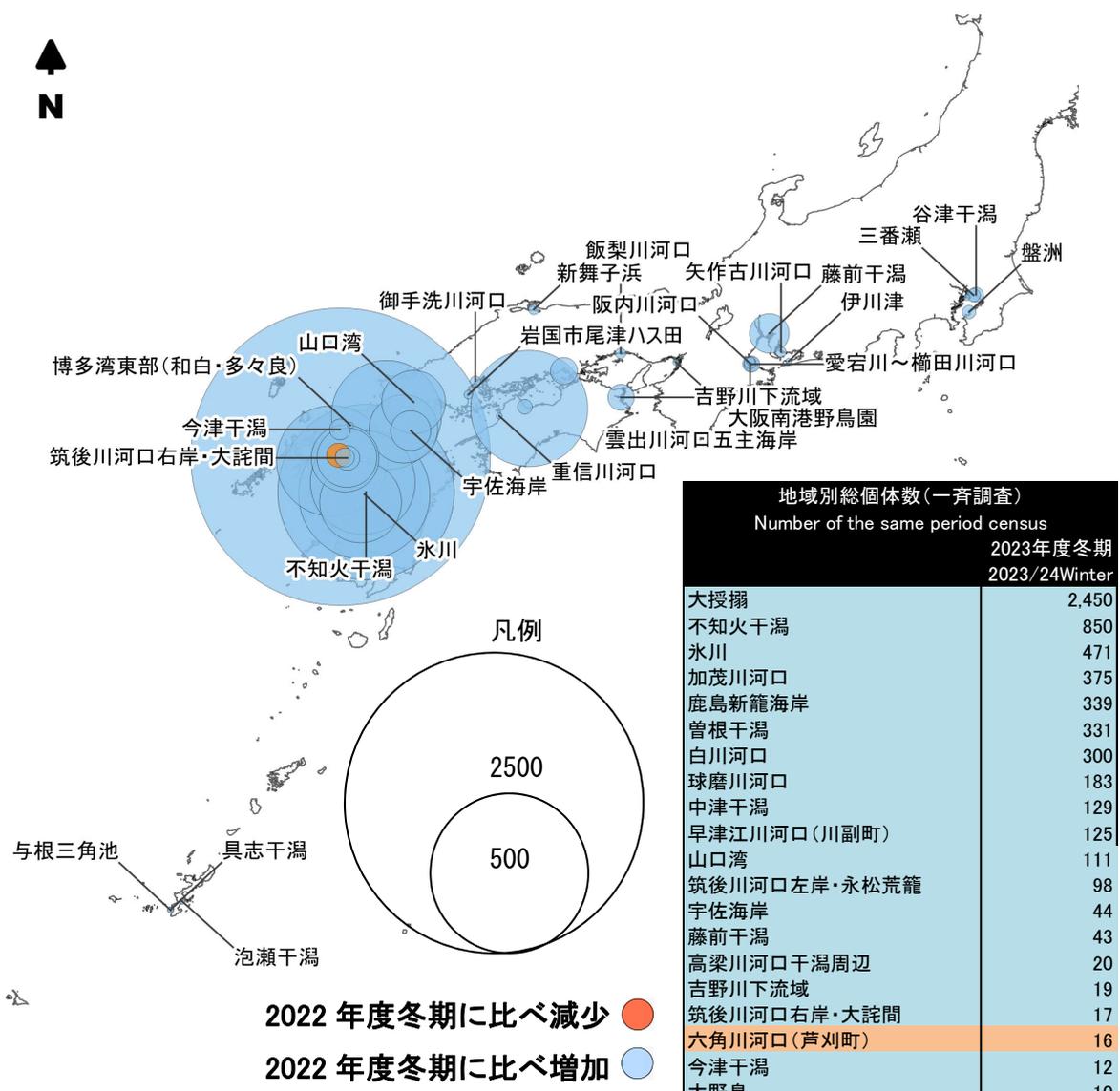


図 15-4 2023 年度冬期の一斉調査(1 月)に基づくズグロカモメの分布

橙色は 2022 年度の個体数より減少した地域。青色は 2022 年度の個体数より増加した地域。

Fig. 15-4 The distribution pattern of Saunders's Gull based by the same period census (Jan.) of individuals in 2023-2024 winter.

Orange is the area which decreased in number from the population in 2022-2023 winter. Blue is the area which increased in number from the population in 2022-2023 winter.

7. 絶滅危惧種

2023 年度に本調査で確認された絶滅危惧種(環境省版レッドリスト, 2020)を表 6 に示す。また、国際自然保護連合(IUCN)の Red List についても、Near Threatened(準絶滅危惧種に相当)以上とされている種について情報を付記した。本モニタリング調査では、調査期間や調査地が固定されているため、通常はヘラシギやカラフトアオアシシギなどの希少種は記録されにくい、カラフトアオアシシギについては秋期に 10 個体の記録があった。

表 6 2023 年度最大個体数調査におけるレッドリスト掲載種の最大個体数

Table6 Endangered species in 2023-24.

レッドリスト2020 環境省 RedList 2020 of Japan 2020年3月	種 名	Scientific Name	春期 (Spring)	秋期 (Autumn)	冬期 (Winter)	IUCN Red List※1
			合計 Sum	合計 Sum	合計 Sum	
絶滅危惧 I A類(CR)	ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i>	0	1	0	Critically Endangered
絶滅危惧 I A類(CR)	カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	0	10	0	Endangered
絶滅危惧 I B類(EN)	コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i>	0	0	0	
絶滅危惧 I B類(EN)	クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	389	133	523	Endangered
絶滅危惧 II 類(VU)	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	517	1,061	3,241	
絶滅危惧 II 類(VU)	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	143	157	34	
絶滅危惧 II 類(VU)	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	1,067	116	2	Near Threatened
絶滅危惧 II 類(VU)	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	74	88	2	Endangered
絶滅危惧 II 類(VU)	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	103	26	11	
絶滅危惧 II 類(VU)	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	42	135	131	
絶滅危惧 II 類(VU)	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	84	249	12	
絶滅危惧 II 類(VU)	アマミヤマシギ※2	<i>Scolopax mira</i>	-	-	-	Vulnerable
絶滅危惧 II 類(VU)	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	7	6	0	
絶滅危惧 II 類(VU)	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	7	11	0	
絶滅危惧 II 類(VU)	ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>	147	7	6,007	Vulnerable
絶滅危惧 II 類(VU)	ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	1,743	0	6,725	
準絶滅危惧(NT)	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	35	26	0	
準絶滅危惧(NT)	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	26,551	3,053	23,636	
情報不足(DD)	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	256	190	63	
情報不足(DD)	シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i>	4	0	0	Near Threatened
情報不足(DD)	チシマシギ	<i>Calidris ptilocnemis</i>	0	0	0	
情報不足(DD)	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>	45	9	114	
	オバシギ	<i>Limosa limosa</i>	350	232	2	Endangered
	ハリモモチュウシヤク	<i>Numenius tahitiensis</i>	0	0	0	Vulnerable
	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	805	351	873	Near Threatened
	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	0	0	794	Near Threatened
	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	7,226	3,071	95	Near Threatened
	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	32	5	12	Near Threatened
	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	9	22	1	Near Threatened
	コモンシギ	<i>Calidris subruficollis</i>	0	0	0	Near Threatened
	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	3,654	2,223	48	Near Threatened
	オグロシギ	<i>Numenius arquata</i>	21	32	2	Near Threatened
	ダイシャクシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	25	39	335	Near Threatened
絶滅危惧 I A類(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの					Critically Endangered
絶滅危惧 I B類(EN)	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの					Endangered
絶滅危惧 II 類(VU)	絶滅の危険が増大している種					Vulnerable
準絶滅危惧(NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種					Near Threatened
情報不足(DD)	評価するだけの情報が不足している種					

※1: IUCN 2021. The IUCN Red List of Threatened Species. Version 2020-2.
http://www.iucnredlist.org. Downloaded on 5 Feb. 2019.

※2: 生息域が調査地に含まれていない

VI 参考文献 (References)

WWFジャパン(2007). 平成 16 年度環境省請負業務シギ・チドリ類個体数変動モニタリング調査総合報告書. 環境省.

環境省自然環境局生物多様性センター、モニタリングサイト 1000 ホームページ
データファイル「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」

https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_shorebird.html

(Download 2024. Nov)

日本鳥学会(目録編集委員会)編(2024). 日本鳥類目録改訂第 8 版. 日本鳥学会
環境省 報道発表資料 令和2年 3 月 27 日 環境省レッドリスト 2020 の公表について

<https://www.env.go.jp/press/107905.html>

IUCN 2021. The IUCN Red List of Threatened Species. Version 2020-3.

<https://www.iucnredlist.org>

環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性の観点から重要度の高い湿地

http://www.env.go.jp/nature/important_wetland/

2024 年度

モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査

2023 年度 総括報告書

2025 年 3 月

環境省自然環境局 生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

電話：0555-72-6033

業務名 令和 6 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業

(シギ・チドリ類調査)

請負者 認定特定非営利活動法人 バードリサーチ

〒186-0002 東京都国立市東 1-4-28-302

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作製しています。